

熊本市 令和7年度 当初予算(案)のポイント

目次

1. 予算編成の考え方と令和7年度当初予算の柱	1
2. 予算の概要	2
3. 重点事項	3
4. 主な取組	5
ビジョン1:こどもが輝き、若者が希望を抱くまち	6
ビジョン2:市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち	9
ビジョン3:市民生活を守る強くしなやかなまち	12
ビジョン4:だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち	13
ビジョン5:豊かな環境を未来につなぐまち	14
ビジョン6:すべての市民がより良い暮らしを営むまち	15
ビジョン7:安全で良好な都市基盤が整備されたまち	16
ビジョン8:市民に信頼される市役所	18
各区のまちづくり／合併3町における新市基本計画に基づく事業	19

5. 関連資料	21
歳入予算の内訳	22
歳出予算(目的別)／(性質別)の内訳	23
国補正予算に対応した 令和6年度補正予算(案)計上事業	25
DXアクションプラン関連事業一覧	26
合併3町における新市基本計画事業	27
主な新規・拡充事業	28
主な廃止・見直し事業	29
渋滞対策関連予算の全体像	30
半導体関連予算の全体像	32
こども局予算の全体像	35
市税決算額の推移/市債残高の推移	36
6. 各局の取組	39

予算編成の考え方

1 令和7年度アクションプランにおける重点事項への財源配分

令和7年度アクションプランに掲げる「慢性的な交通渋滞の解消」、「半導体関連企業の熊本進出に伴う諸課題への対応」、「総合的なこども施策の推進」の3項目に財源を重点配分します。

2 「上質な生活都市」の実現

本市が目指す「上質な生活都市」の実現に向け、まちづくりの重点的取組について着実に進めていきます。

3 予算の「質の向上」

ビルド&スクラップと連動した予算要求の新たなルールを導入し、限られた経営資源の中で必要な施策を着実に推進していきます。

～令和7年度(2025年度)予算編成方針
[令和6年(2024年)10月8日付熊本市財政課]より～

令和7年度当初予算の柱

令和7年度は **“心をつないで くまもとの未来へ”** をテーマに設定し、令和7年度アクションプランにおける3つの重点事項と、第8次総合計画における8つのビジョンを柱に予算を編成しました。

ビジョン1 こどもが輝き、若者が希望を抱くまち

ビジョン5 豊かな環境を未来につなぐまち

ビジョン2 市民に愛され、世界に選ばれる、
持続的な発展を実現するまち

ビジョン6 すべての市民がより良い暮らしを営むまち

ビジョン3 市民生活を守る強くしなやかなまち

ビジョン7 安全で良好な都市基盤が整備されたまち

ビジョン4 だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち

ビジョン8 市民に信頼される市役所

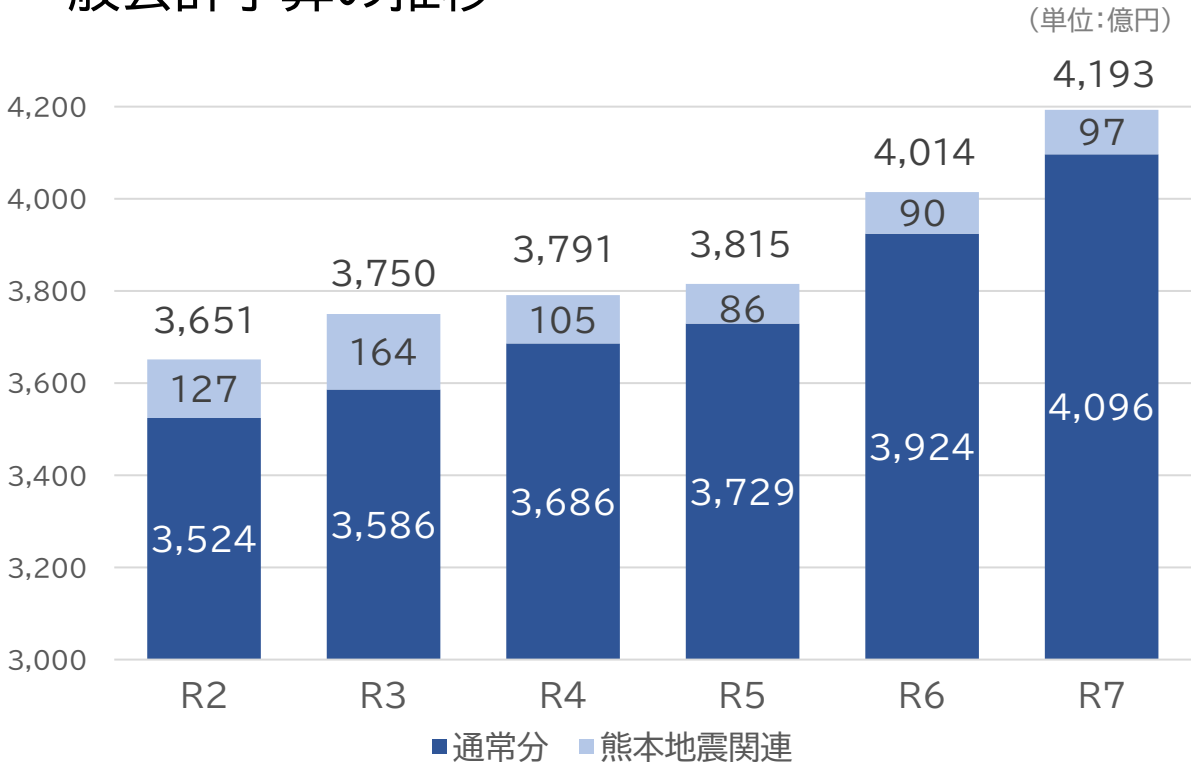
当初予算(案)の概要

- 一般会計の総額は、前年度から179億円増加し、4,193億円で過去最大の予算規模
※令和6年度12月/2月補正予算(案)のうち、国補正予算に対応した経済対策予算99億円を含めた実質的な予算規模は4,292億円
- ビルド＆スクラップの取組の推進や令和7年度アクションプランにおける重点事項への対応を踏まえ、重点課題経費として15億円を計上
- 引き続き、熊本地震からの復旧復興のため、熊本地震関連予算に97億円を計上
- 令和7年度の予算は、新庁舎整備、防災、健康福祉、教育、観光など多岐にわたる分野での拡充と新規事業に重点を置いている
- 主な増加要因は、児童手当給付経費や施設型給付費の増加により扶助費が41億円の増、長寿命化事業や道路予算の増加により投資的経費が80億円の増等によるもの
- 特別会計・企業会計を合わせた総額は7,564億円(対前年比280億円、3.8%の増)

対前年度比較

(単位:億円)				
区分	令和7年度	令和6年度	増減額	伸び率
一般会計	4,193	4,014	+179	+4.5%
特別会計	2,468	2,419	+49	+2.0%
企業会計	903	851	+52	+6.1%
合計	7,564	7,284	+280	+3.8%

一般会計予算の推移



重点事項1 慢性的な交通渋滞の解消

15事業 112億円

※各事業は
P30に掲載

熊本県と連携し、渋滞緩和の取組を市民に広げます！

公共交通の諸課題に取り組み、
マイカーから公共交通への利用転換を図ります！



重点事項2 半導体関連企業の熊本進出に伴う諸課題への対応

32事業 11億円

※各事業は
P32に掲載

半導体関連企業の誘致を促進するとともに、
地下水を将来にわたって守ります！

本市在住外国人の増加に対応し、受入環境を整備します！



水田湛水



高雄市旅行公会国際旅展

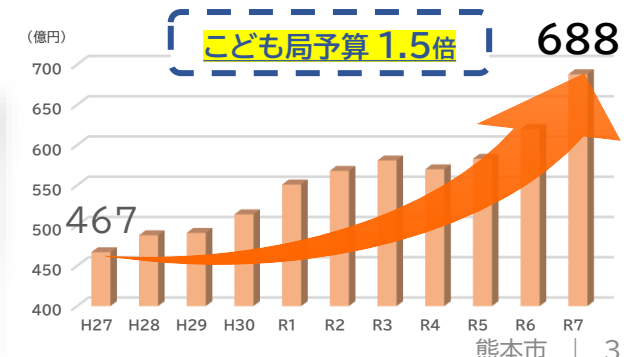
重点事項3 総合的なこども施策の推進

147事業 688億円

※各事業は
P35に掲載

“こどもが輝き、若者が希望を抱くまち”を実現します！

安全安心なこどもの居場所の提供に取り組みます！



令和7年度 当初予算(案)のポイント 主な取組

【凡例】

新 : 令和7年度から新たに実施する取組を含む

拡 : 令和7年度より内容を拡充等して実施する取組を含む

主要事業
[〇〇-●●] : 「令和7年度当初予算(案)の概要」の主要事業一覧との対応

〇〇: 所管局…議会: 議会局、政策: 政策局、総務: 総務局、財政: 財政局、文市: 文化市民局・区役所、
健福: 健康福祉局、こども: こども局、環境: 環境局、経済: 経済観光局、農水: 農水局
都市: 都市建設局、消防: 消防局、教育: 教育委員会事務局、交通: 交通局

●●: 主要事業一覧の各局事業の通し番号
例)

主要事業
[こども-7] : 令和7年度当初予算主要事業一覧のこども局の7番「こども誰でも通園制度関連経費」

※ **新** **拡** については、取組単位での整理であり、事業単位での整理と一致しない場合があります

ビジョン1 こどもが輝き、若者が希望を抱くまち

【施策】#すべてのこどもの健やかな成長と家庭の幸せへの支援 #困難な状況にあるこどもや子育て家庭への支援

希望する結婚や仕事と子育ての両立支援 | 保育サービスや幼児教育などの充実 | 地域主体の子育て支援 など

結婚支援

くまもと出会いサポートセンターで結婚を後押し
12の近隣市町村と共同で「くまもと出会いサポートセンター”Kumarry (クマリリー)”」を運営し、結婚を後押しします。

33,000千円

主要事業
[こども-1]



結婚支援事業

AIマッチングシステムによる
1対1のお見合いサポート

- ・スマホやPCで、お相手探しやお見合い！
- ・AIが相性が良いと思われる異性を紹介



第三者による伴走型サポート

お見合いの立会いや交際
成立後のフォローなど、
伴走型でサポート！



結婚相談サポート

- ・対面orオンラインによる相談！
- ・豊富な婚活スキルを持つ職員が対応！



婚活イベント・セミナーの開催

イベントやセミナー
で複数人での出会い
の機会を提供



新 こども誰でも通園制度の実施

生後6カ月～2歳のこどもなら誰でも、親の就労状況等に関わらず、月一定時間の利用枠内で保育施設を利用できる制度を実施します。

実施施設数を拡充

R6:8施設 > R7:12施設

52,900千円

主要事業
[こども-7]

新 こどもの性被害防止に向けた環境整備を支援

保育所や障害児通所支援事業所等に対し、パーテーションやカメラ等の設置に対する支援を行うことで、こどもの性被害を防止します。

29,752千円

(一部R6補正計上)

主要事業
[こども-8]
[補・健福-1]

障がい児や医療的ケア児の受入促進

保育所等に対し、障がい児や医療的ケアを必要とするこどもの受入体制整備に係る経費を支援することで受入れを促進します。

473,400千円

主要事業
[こども-6, 9]

受入体制整備に係る予算の増

R6:3.9億円⇒R7:4.7億円(1.2倍)

拡 保育士確保に向けた取組を支援

これまでの就職支援コーディネーターの配置や資格取得等への支援に加え、事業者が行う就職促進等への取組を支援し、保育士の確保を図ります。

5,324千円

主要事業
[こども-10]

拡 安心できるこどもの居場所の確保

安心・安全な居場所を提供し、こどもや家庭が抱える課題に対し包括的に支援します。

施設数を拡充

R6:1施設 > R7:2施設

26,800千円

主要事業
[こども-14]

拡 児童育成クラブの体制強化

受入れ児童数の増加に対応するため、民間派遣の活用による支援員の確保と業務負担の軽減を図ります。

2,319,400千円

主要事業
[教育-4]

こども誰でも通園制度



親の就労状況等に関わらず
月一定時間まで
保育所などに通園できる



子育て環境の整備

ビジョン1 こどもが輝き、若者が希望を抱くまち(つづき①)

【施策】 #すべてのこどもの健やかな成長と家庭の幸せへの支援 #困難な状況にあるこどもや子育て家庭への支援 #こどもを主体とした教育の推進

こどものいのちと権利を守る取組 | 社会的に支援の必要性があるこどもや子育て家庭への支援 | 最適な教育環境の整備

権利擁護

母子のケア

教育環境の整備

こどもの権利を守る取組

こどもの権利擁護(アドボカシー)の普及啓発や意見表明支援員(アドボケート)の確保・育成等を実施することでこどもの権利を守ります。

10,400千円

主要事業
[こども-11]

一時的に家庭での養育が困難となった家庭を支援

保護者の疾病等により一時的に家庭での養育が困難となった児童を一定期間預かる「子育て短期支援事業」をさらに拡充します。

34,400千円

主要事業
[こども-13]

産後の母子への専門的なケアの実施

産後の育児への不安や負担、不調を訴える産婦に対し専門的ケアを行い、健やかな育児ができるよう支援します。

66,300千円

主要事業
[こども-3]

新たな形式での学校部活動の実施

部活動指導者マッチングシステムの構築や部活動指導員の配置拡充により、顧問教員の負担軽減や部活動の指導体制の充実を図ります。また、今後の安定的な運営に向け企業協賛の獲得を目指します。

66,500千円

主要事業
[教育-2]

学校施設の適切な管理とバリアフリー化等の推進

学校施設の増改築や天明校区施設一体型義務教育学校の建設を着実に進めるとともに、トイレ洋式化やエレベーターの設置等のバリアフリー化を推進します。

8,892,395千円

主要事業
[教育-3]

☑施設整備に係る予算の増

R6:59億円⇒R7:89億円(1.5倍)

日本語指導を必要とする児童生徒への支援

増加する日本語指導を必要とする児童生徒に対応するため、支援の中心となる拠点校を東区に1校追加し、日本語指導体制をさらに強化します。

30,200千円

主要事業
[教育-5]

☑拠点校を拡充

R6:3校 ➡ R7:4校

施設による受入体制の拡充(子育て短期支援事業)

NEW

利用
最優先施設



延べ780人/年程度
の大幅な受入が可能
となる！

ショートステイ専用室を設置し、専従職員を配置
(児童養護施設等の空き居室を活用)

本市初の義務教育学校



熊本市立 天明みらい学園(イメージパース)

ビジョン1 こどもが輝き、若者が希望を抱くまち(つづき②)

【施策】#こどもを主体とした教育の推進 #まちを支える人材の確保・育成

こども一人ひとりを尊重した教育の推進 | 最適な教育環境の整備 | 多様な人材が活躍できる環境・体制の整備

教育環境の整備

拡

いじめ・不登校児童生徒への“こころの居場所づくり”

別室登校の児童生徒を支援する不登校対策サポーターの配置や、不登校児童生徒の自立を支援するフレンドリー、オンライン学習支援等の支援の強化を図ります。

59,700千円

主要事業
[教育-7]

フレンドリーの拡充
(仮称)森都心教室の設置

拡

支援体制の強化による教育環境の整備

心のケアを必要とする児童生徒等に対して専門的なカウンセリングを行うスクールカウンセラーの配置時間の拡充や、医療的ケアを必要とする児童生徒に対応する看護師(学級支援員)の増員等により、更なる支援体制の強化を図ります。

664,500千円

主要事業
[教育-8~10]

拡

UIJターン促進による人材確保

専門員による移住・就職に関する相談支援や公式移住情報サイトの改修、本市独自の移住イベント・プロモーションの実施等によりUIJターンを促進し、企業の人材確保を支援します。

39,900千円

主要事業
[経済-2]

人材確保

大学生アシスタントとしての教育現場の体験

教員志望の大学生等に有償アシスタントとして実際の学校現場で授業支援等を担ってもらうことで、教員の資質と本市の教員となる志望意欲を高め、志願者増につなげます。

8,000千円

主要事業
[教育-6]

学校現場における人員配置の推移

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	6か年増加率
スクールソーシャルワーカー (配置人数)	10	16	16	16	21	21	2.1倍
スクールカウンセラー (配置時間)	9,608	12,765	12,538	12,171	12,171	12,898	1.3倍
不登校対策サポーター (配置人数)	4	6	14	14	21	21	5.3倍
学級支援員 (配置人数)	137	138	135	168	187	192	1.4倍
部活動指導員 (配置校数)	5	5	5	8	11	42	8.4倍
大学生アシスタント (配置人数)	—	—	—	30	70	70	2.3倍

大学生アシスタント

アシスタントの主な業務

- ・TT指導(授業中の学習指導補助)
- ・基礎学力の定着サポート
- ・授業や家庭学習の課題準備補助
- ・特別な配慮が必要な児童等の支援補助
- ・休み時間の児童等との活動、見守り 等



ビジョン2 市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち

【施策】#半導体関連産業等への新たな投資の後押しや中小企業等の振興

戦略的な企業誘致の推進 | スタートアップエコシステムの構築と新産業・成長産業の振興 | 商工業の振興と持続可能な企業活動への支援

戦略的な企業誘致

【拡】半導体関連企業の誘致強化

半導体関連企業の企業情報や進出意向の調査を行い、効果的な誘致活動を実施し、半導体関連企業の誘致を促進します。

28,700千円

主要事業
[経済-3]

【拡】半導体関連企業集積に伴う交通対策の促進

産業ゾーンへの半導体関連企業の集積に伴う交通諸課題に対応するため、周辺道路の交差点改良等のインフラ整備を促進します。

367,300千円

主要事業
[都市-22]

誘致活動による企業立地の促進

本市への企業立地を促進するため、企業に対する誘致活動とともに、設備投資や雇用に係る費用の一部助成を実施します。

1,041,900千円

主要事業
[経済-4]

【拡】“熊本版スタートアップエコシステム”の構築

これまで行ってきたステージごとの支援に加え、オープンイノベーションを促進する取組や、首都圏や九州圏内でのPR等を拡充することにより、“熊本版スタートアップエコシステム”の構築を目指します。

64,300千円

主要事業
[経済-7]

【拡】中小企業の事業承継や引継ぎの促進

中小企業向けの啓発セミナーの開催に加え、市内中小企業の後継者(候補者)に既存の経営資源を活かした新規事業開発等を支援するアツギアクセラレーション事業を新たに実施し、事業承継支援を促進します。

7,400千円

主要事業
[経済-1]

企業誘致の取組



セミコン台湾での本市ブース出展



首都圏企業の本市視察ツアー

スタートアップエコシステム※(成長と支援の循環)

次の起業家等の
支援者へ

ロール
モデル

有望な
スタートアップ・
第二創業事業者

スタートアップ・
第二創業事業者
(立上期)

起業家予備群
(学生起業志望者含む)

メンター(先輩起業家等・投資家・専門家等)

☑スタートアップ等支援関連予算の増

R6:1.1億円⇒R7:1.3億円(1.2倍)



スタートアップWカップ

※ ロールモデルとなる事業者を輩出し、次のスタートアップの支援者として、機運醸成や伴走型支援などに取り組み、スタートアップの連続排出を目指す仕組みのこと。

スタートアップ・商工業

ビジョン2 市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち(つづき①)

【施策】# 世界を魅了する都市ブランドの向上 # 交流人口拡大によるにぎわいの創出

魅力と活力のある中心市街地の形成 | 熊本城をはじめとする文化・観光資源の活用 | 戦略的な観光施策の展開 など

都市ブランドの向上

新 観光資源の魅力創出による地域ブランド力の向上
熊本の地下水と親和性の高いサウナなどのイベント開催や、熊本ゆかりの人物にスポットを当てたPR等により、来訪に繋がる魅力を創出します。

10,000千円
主要事業
[経済-8]

新 新庁舎整備を契機としたまちづくりの推進
新庁舎整備を契機としたまちづくりを進めるため、現庁舎跡地にふさわしい利活用や周辺の建替え促進、回遊性向上にかかる取組の方向性を“(仮称)庁舎周辺まちづくりプラン”としてとりまとめます。

55,000千円
主要事業
[政策-7]

ナイトタイムエコノミーの推進や夜間景観の充実
熊本城など、本市ならではの施設や地域等において灯りのイベントなどを実施することで、夜の魅力創出を図り、滞在時間の延長や宿泊につながります。

43,500千円
主要事業
[経済-9]

拡 台湾へのプロモーションによる誘客の促進
県や県内自治体と連携した台湾で開催される旅行博等でのプロモーションやSNSでの情報発信等により台湾からの誘客を促進します。

8,000千円
主要事業
[経済-11]

拡 戦略的なMICE誘致活動の推進
継続的な誘致活動に加え、GDSアワード※の受賞の効果を活用した国際会議誘致プロモーションの拡充等により誘致を促進します。
※ 持続可能な観光地としての優れた取組を評価する国際的な賞

97,600千円
主要事業
[経済-12]

新 観光振興の取組強化のための安定的な財源確保
令和8年7月の宿泊税条例の施行に向け、旅行者等に対し十分な周知広報を行うとともに、宿泊事業者等の負担軽減を図ります。

113,000千円
主要事業
[財政-3]

観光資源の魅力創出



動植物園サバンナエリアのイメージ



現在の草食獣エリアに、広大なサバンナと低木林を再現し、動物本来の生息環境に近づけた展示を行い、サバンナの先には江津湖が望める景観を創出できるようにする。

動植物園

開園100周年に向けたサバンナエリア整備
令和11年の熊本市動植物園開園100周年に向けたサバンナエリアの整備等の施設整備を進めるとともに、イベントの開催や広報等により集客を図ります。

1,015,000千円
主要事業
[経済-13,14]

交流人口の増加

ビジョン2 市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち(つづき②)

【施策】#活力と魅力に満ちた持続可能な農水産業の振興

競争力の高い農水産業の振興 | しなやかで強い経営基盤の確立 | 農と食の魅力創造

農水産業の振興

新 未来へ向けた農業の担い手確保

就農希望者への実践型の就農体験の提供や、新規就農者への早期定着・経営安定に向けた支援を実施することで、未来へ向けた農業の担い手確保に努めます。

夢と活力ある農業のための支援

農業生産性を向上させるため、スマート農業の推進や自然災害対応等への対策、経営改善のための農業経営コンサルタントの活用等、農業者の主体的な取組を支援します。

農業基盤整備の着実な推進

農道・用排水路等の整備のニーズに対応することにより農業経営の安定化を図ります。

24,000千円

主要事業
[農水-6]

43,400千円

主要事業
[農水-4]

666,355千円

主要事業
[農水-7]

新 半導体関連企業の進出を契機とした海外への食の魅力発信

半導体関連企業の熊本進出を契機として、輸出を目指す生産者等の輸出や台湾・アメリカをターゲットとした販路拡大・プロモーションを支援します。

16,000千円

主要事業
[農水-1]

新 農と食の未来をつくる理解醸成の推進

適正な価格形成に向けた市民の理解醸成と生産者の収益を確保するため、SNS等での発信や地産地消の取組を推進します。

11,000千円

主要事業
[農水-6]

拡 年間を通した国内への熊本産品プロモーション

大消費地である首都圏での販路拡大に向け、熊本産品の旬をとらえた効果的なプロモーションを通年で実施します。

15,100千円

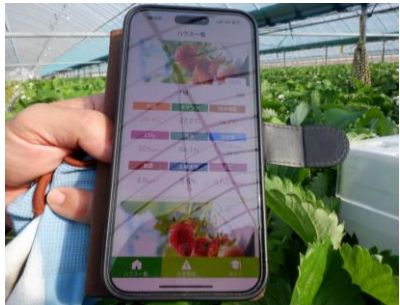
主要事業
[農水-2]

農業の担い手確保

取組	概要
柑橘産地担い手確保支援 [2,000千円]	就農希望者に対し、産地が一体となり実践型の就農体験を提供する (1)就農希望者の技術研修に係る交通費や宿泊費等補助 (2)就農相談会へのブース出展
就農スタートアップ支援 [22,000千円]	新規就農における初期投資等の負担を軽減することで、早期の就農定着を図る (1)農業用機械や施設等の整備補助



生産性向上の取組例



ハウス内環境モニタリング
温度や湿度等の環境をモニタリングして見える化



直進アシスト機能搭載トラクター
GPSを活用⇒ほ場内作業を効率化

海外への食の魅力発信



商談会

熊本産品プロモーション



くまもとフェア

農と食の魅力創造

ビジョン3 市民生活を守る強くしなやかなまち

【施策】#防災・減災の推進 #保健衛生体制の強化と医療提供体制の確保 #総合的な消防・救急体制の強化 #交通安全・防犯の推進

防災拠点施設の強靱化 | 自助、共助及び公助による地域防災力の更なる向上 | 医療提供体制の確保 | 消防体制の充実強化 など

防災・減災の推進

新 新庁舎整備の推進

新庁舎に必要な機能等について、市民ワークショップやアンケート、説明会等を実施し、市民の意見を踏まえながら検討を進めます。

294,000千円

主要事業
[政策-5, 6]

拡 災害時の避難行動促進への取組

白川洪水浸水想定区域図の変更に伴うハザードマップの刷新を行うとともに、市民が適切な避難行動に繋がられるよう浸水標識の設置を行うなど、災害時の避難行動を促進します。

91,700千円

主要事業
[政策-9]

拡 個別避難計画の策定による避難行動要支援者への支援

災害時の避難に支援を必要とする避難行動要支援者に対し、個別避難計画作成を推進することで、より実効性のある支援体制を構築します。

34,800千円

主要事業
[政策-10、健福-2]

拡 DXの推進による消防・救急の充実強化

消防行政においてDXを積極的に推進し、更なる市民サービスの向上、業務の効率化、消防力の強化を図ります。

14,353千円

主要事業
[消防-1]

小島出張所の移転建替え

建物の老朽化や大規模洪水による浸水可能性のある小島出張所の移転建替えに着手します。

277,800千円

主要事業
[消防-5]

新 地域防犯力の強化

町内自治会等における防犯カメラの設置等に係る費用を補助することで、地域の防犯力の強化を図ります。

60,000千円

(全額R6.2補正計上)
主要事業
[補・文市-1]

拡 がん患者のQOL※向上支援

令和6年度から開始した医療用ウィッグや乳房補整具等の購入費用の助成に加え、新たに若年がん患者への在宅療養生活支援を実施し、がん患者の生活の質の向上を図ります。

6,260千円

※「Quality Of Life(クオリティ・オブ・ライフ)」の略称で、生活の質のこと

主要事業
[健福-16]

新 庁 舎 整 備



ワークショップのイメージ

個 別 避 難 計 画



(図：熊本県避難行動要支援者の個別避難計画取組事例集より抜粋)

消防・救急の強化

防犯推進

医療

犯罪被害

犯罪被害者等に対する独自支援

犯罪被害者等に対し、市独自の見舞金を支給するなどの経済的な支援を行うとともに、市民等への啓発を行います。

3,050千円

主要事業
[文市-3]

ビジョン4 だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち

【施策】# 人権尊重社会の実現 # だれもが生きがいを持ち、お互いに支え合える社会の実現 # 多文化共生の推進

障がいのある人の自立支援と社会参加の推進 | 孤独・孤立対策等の地域福祉活動の推進 | 多文化共生の理解向上 など

自立支援・社会参加

拡 障がい者の特性に応じた就職支援

障がい者の就労支援を行う「熊本市障がい者就労・生活支援センター」の運営に加え、短時間の就労を希望する障がい者の新たな就労の選択肢を増やすことで、障がい者の就職をさらに促進します。

19,709千円

主要事業
[健福-13]

拡 障がい者の雇用促進と活躍機会の創出

障がいのある職員を雇用し、職員の特性に応じた就労支援や働きやすい職場環境整備を目的に、定型業務や軽易作業を行う集合型のワークステーションを新たに設置します。

94,200千円

主要事業
[総務-4]

新 民生委員協力員の配置による地域福祉活動の推進

民生委員・児童委員活動をサポートする民生委員協力員の配置により、地域福祉活動を推進します。

1,800千円

主要事業
[健福-3]

拡 第2期国際戦略の推進

フランス・エクサンプロヴァンス市との交流や北米への訪問を通じて観光等をはじめとする本市のPRを行います。

19,300千円

主要事業
[政策-2]

拡 台湾からの移住者向けの支援と交流の促進

台湾等からの転入者が地域へスムーズに定着できるよう、生活情報セミナーや交流型のイベントを実施し、多文化共生社会の実現に向けた取組を進めます。

9,100千円

主要事業
[政策-3]

拡 外国人受入環境の整備

本市の在住外国人の増加に伴い日本語学習へのニーズが高まっていることから、「生活」に密着した体系的なカリキュラムの開発を行い、地域日本語教育の総合的な体制づくりを推進します。

10,400千円

主要事業
[政策-4]

ワークステーションの概要

体制

会計年度任用職員 6名程度
ジョブコーチ 1～2名程度
※ジョブコーチの人件費は障がい福祉課で計上

業務

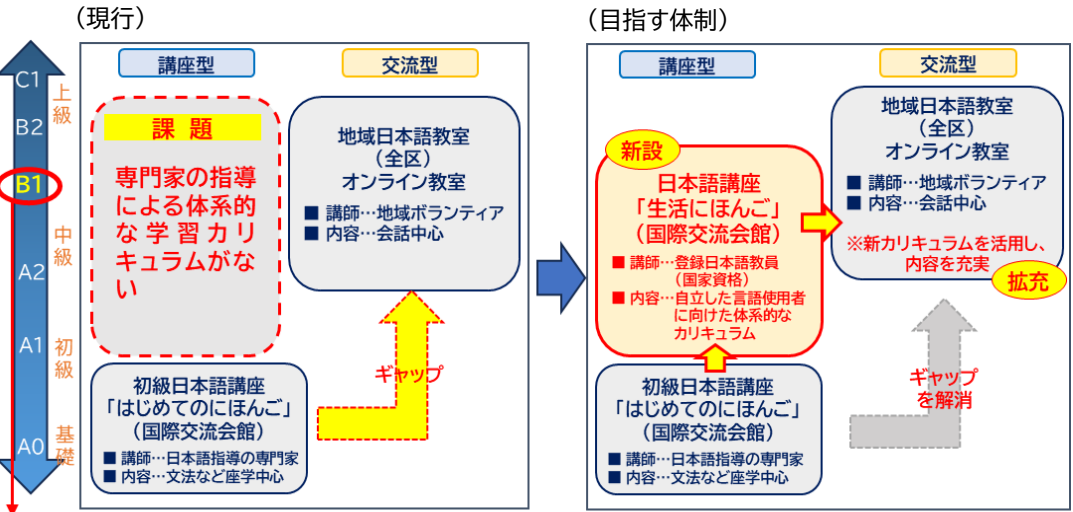
- ・物品購入管理(在庫管理・補充)
- ・データ入力・集計作業
- ・封入・封緘作業
- ・その他各課における軽易作業

北米に向けたトップセールス



全米市長会総会の様子

本市の在住外国人向け日本語教育カリキュラム



ビジョン5 豊かな環境を未来につなぐまち

【施策】#カーボンニュートラルの実現 #生物多様性の保全と自然との共生 #快適で安全・安心な生活環境の保全

水環境の保全 | 生物多様性の保全 | 住民や事業者の地球温暖化対策の推進

地下水・環境保全

地下水を未来につなげるための地下水かん養の推進 102,330千円

くまもと地下水財団への負担金や白川中流域において水田湛水を行う農家に対する助成金の交付により、熊本地域の住民・事業者・行政との協働による地下水保全の取組を推進します。

☑湛水助成金・負担金の増

R6:77百万円⇒R7:1億2百万円

主要事業
[環境-5,6]

水源かん養林の整備による地下水保全 63,100千円

西原村や大津町等で水源かん養林としての森林整備を実施します。
(財源にはグリーン/ブルーボンドを活用予定)

主要事業
[環境-7]

水質保全対策の強化 13,690千円

地下水及び公共用水域における水質の監視を継続するとともに、PFASの指針値超過が確認された地点について、監視を強化します。

主要事業
[環境-8]

江津湖の再生に向けた取組の強化 116,300千円

江津湖における水草駆除能力の強化を図るとともに、自然環境保全・再生に向けた現地調査を行い、江津湖のあるべき姿や利活用のあり方について整理し、今後の取組方針及び計画を策定します。

主要事業
[環境・都市-1]

持続可能なくまもと脱炭素循環共生圏の推進 43,200千円

「熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画」の改定や地球温暖化対策の広報・啓発等を行うことで、脱炭素化の取組を推進します。

主要事業
[環境-1]

熊本連携中枢都市圏で取り組む市町村有施設の脱炭素化 97,070千円

国の交付金を活用し、連携中枢都市圏の市町村が実施する太陽光発電設備の導入やZEB化等の脱炭素化事業の加速化を図ります。

☑熊本市取組分

太陽光発電設備等:22,332千円

主要事業
[環境-2,3]

地下水かん養の取組



水田湛水



水源かん養林の整備



江津湖再生に向けた取組



水草の撤去



サンプリング調査



脱炭素化

ビジョン6 すべての市民がより良い暮らしを営むまち

【施策】#地域コミュニティ活性化の推進 #人生100年時代を生きるための健康づくりの推進 #文化芸術が持つ多様な価値観の活用

生活習慣病の発症予防と重症化予防 | 市民参画・協働による地域コミュニティの活性化 | 市民が身近に芸術文化に親しめるまちづくり など

健康
づ
くり

● 拡

早期発見のためのがん検診の強化

大腸がん罹患・死亡者数の減少のため、医学的に効果が
高い、全大腸内視鏡検査を新たに導入し、55～59歳の市民
を対象に1,000件を無償実施します。

614,400千円

主要事業
[健福-7]

☑新たな検査方法の導入

全国初

全大腸内視鏡検査の無償実施

● 拡

健康ポイント付与による健康づくり

健康づくり活動を推進するため、熊本健康アプリを熊本連
携中枢都市圏等で共同運用し、圏域の自主的な健康づくりを
支援します。

71,900千円

主要事業
[健福-6]

● 拡

受動喫煙防止の推進

新たに中心市街地への分煙施設の設置に対する助成を行うこ
とで、望まない受動喫煙の防止を推進します。

39,380千円

主要事業
[健福-5]

地域
活
動

● 拡

「くまもとポイント」アプリを活用した地域活動の活性化

マイナンバーカードと紐付けたくまもとアプリを本格運用し、
ポイント等のインセンティブを付与するとともに、地域活動
への参加を「見える化」することで、活動の活性化を図ります。

24,000千円

主要事業
[文市-2]

文化
振
興

● 拡

記念館におけるイベント開催による認知度向上や魅力発信

NHK連続テレビ小説「ばけげん」の放送に合わせた小泉八雲
熊本旧居のPRイベントや展示の充実を行い、記念館の活用を
さらに促進します。

28,700千円

主要事業
[文市-5]

熊本の工芸品の開発インターンシップによる魅力の発信

全国からインターンシップ生を募集し工芸品の新商品開発
を行うほか、工芸品を楽しむイベント開催による魅力発信に
取り組みます。

4,900千円

主要事業
[文市-4]

くまもとアプリの本格運用に伴う活動範囲拡大イメージ

対策① ポイント付与対象活動の多様化

✓ ポイントを貯める機会の創出

自治会活動や協賛企業のCSR活動など、ポイント付与対象活
動の範囲を拡充や期間限定のポイント付与数アップを行う。

対策② インセンティブの充実

✓ 電子クーポン・抽選会景品等の充実

協賛企業の店舗で利用できる電子クーポンや抽選会の景品
等魅力的なインセンティブとなるよう、公募等を通じて協
賛企業数を増やす。

対策③ 若年層へのアプリ利用促進

✓ 高校や大学等への働きかけ

高校や大学等に出向き、学生に対してアプリの説明会を行
い、利用を促す。

令和7年度に予定している主な熊本城の復旧工事



飯田丸五階櫓復旧工事(被災直後)



宇土櫓続櫓台石垣復旧(解体)工事

文化
財

熊本城の計画的復旧

宇土櫓続櫓石垣解体や本丸御殿大広間復旧設計委託等を実
施するほか、最新技術を活用した重要文化財防火対策検討
を実施します。

2,997,542千円

主要事業
[文市-6]

ビジョン7 安全で良好な都市基盤が整備されたまち

【施策】#持続可能で魅力的な都市づくり

都市機能の維持・確保と適正な土地利用の促進 | 持続可能で利便性の高い公共交通体系の構築

渋滞対策・公共交通への転換

新 バス走行環境の改善による利便性向上
基幹公共交通軸の一つである長嶺方面(産業道路～国体道路)におけるバスの機能強化を図り、利便性向上に取り組みます。

新 交通量分散による渋滞の緩和
集中する交通量の分散による交通渋滞の緩和を図るため、現況調査及びルートマネジメントの検討等を行います。

新 南熊本快速バスの試験的運行
中心市街地へのアクセス強化と混雑が著しいJR新水前寺駅からの分散化を図るため、JR南熊本駅と中心市街地を結ぶ快速バスの実証実験を実施します。

公共交通の利用促進につながる取組を支援

民間事業者の自由な発想による利用促進策が行えるよう新たな補助金を創設するなど、公共交通の利便性向上と利用者増を図ります。

☑新たな取組
事業者への補助を創設

新 持続可能な公共交通のあり方検討
目指す公共交通の姿を実現するため、長期安定期に公共交通サービスを供給していくためのあり方等を検討します。また、地域公共交通計画の策定に向けた課題や必要な施策の整理を行います。

新 運転士不足解消等に向けた自動運転の実証実験
運転士不足や移動手段の確保等の課題に対応するため、自動運転バスの実証実験(レベル2)を継続して実施します。

拡 コミュニティ交通の推進による市民の移動手段の確保

公共交通空白地域等におけるAIデマンドタクシー等の運行を行うとともに、持続可能な運行のためのシミュレーションを行います。

11,700千円

主要事業
[都市-8]

5,000千円

主要事業
[都市-8]

11,000千円

主要事業
[都市-8]

20,000千円

主要事業
[都市-7]

19,000千円

主要事業
[都市-9,10]

152,000千円

主要事業
[都市-11]

61,000千円

主要事業
[都市-13]

南熊本快速バスのイメージ



公共交通利用促進事業補助金のイメージ

	単一モード&単一事業者の取組	複数モード&単一事業者の取組	単一モード&複数事業者の取組	複数モード&複数事業者の取組
対象	 or  市電 路線バス (単一事業者)	  電鉄バス 電鉄電車	 路線バス (複数事業者)	 +  など 市電 路線バス (複数事業者)
上限額	750万円	1,000万円	1,000万円	1,500万円
補助率	評価点 7割～8割未満	1/2	1/2	1/2
	8割～9割未満	2/3	3/4	3/4
	9割以上	3/4	9/10	9/10

ビジョン7 安全で良好な都市基盤が整備されたまち(つづき)

【施策】#持続可能で魅力的な都市づくり #豊かな住生活の実現

持続可能で利便性の高い公共交通体系の構築 | 良好な道路環境の実現 | 自転車利活用の推進 | 良好な居住環境の形成

結節強化

新

新水前寺駅及び上熊本駅の機能強化

新水前寺駅バス停設置に伴うバスベイの詳細設計や上熊本駅の機能強化に向けた調査を行い、交通結節点の強化を図ります。

20,800千円

主要事業
[都市-14]

市電

拡

(企)熊本市電の安全運行に向けた取組

軌道施設の着実な更新と維持補修を行うとともに、乗務員等に実効性の高い指導・教育を行うことで、安全運行を徹底します。

586,483千円

主要事業
[交通-2~5]

道路整備

熊本西環状道路の整備推進

「池上工区」及び「池上インター線」の令和7年度開通に向けた工事や「砂原工区」の用地取得等を行い早期開通に向けて整備を推進します。

5,704,003千円
(一部R6補正計上)

主要事業
[都市-21]

拡

生活道路の補修等の市民ニーズへの対応

各区土木センターが管理する生活道路の舗装補修等の市民ニーズに対応します。

121,000千円

主要事業
[都市-23]

自転車

新

こどもの自転車ヘルメット着用を促進

こどもの安全対策のため、高校3年生以下の子どもを対象に自転車ヘルメット購入補助(1人2,000円)を実施します。

300,000千円

主要事業
[都市-28]

住環境

新

企業立地動向を踏まえた住宅需要の分析

半導体関連企業の進出により生じる住宅ニーズの変化を予測・分析し、今後の住宅政策に活用します。

35,000千円

主要事業
[都市-15]

13,000千円

主要事業
[都市-16]

新水前寺駅及び上熊本駅の機能強化

出典：PLATEAU VIEW (国土交通省 <https://plateauview.mlit.go.jp/>) を加工して作成

道路の整備イメージ

10分・20分構想

ビジョン8 市民に信頼される市役所

【施策】# 行政サービスの質の向上と持続可能な行財政運営の推進 # 開かれた市役所の実現 # 市域を超えた広域的な連携の強化

効果的かつ効率的な行財政運営の推進 | マネジメント機能の強化 | 職員の能力向上と働き方改革 | 市民の参画と協働の推進

市民サービスの向上

新

顧客ハラスメント対策

顧客ハラスメント対策として通話録音装置等を導入するとともに、「接客意識向上研修」を実施することで接客の向上を図ります。

50,930千円

主要事業
[総務ほか-1]

拡

書かないワンストップ窓口の導入

利用者目線からの業務改革(BPR)を行い、ライフイベントに伴う手続きが1カ所で受付可能となる書かないワンストップ窓口を導入します。

185,660千円

主要事業
[総務-8]

拡

建築関係手続き等のオンライン化の推進

屋外広告物手続きや建築行政手続きのデジタル化により、市民の利便性向上と業務の効率化を図ります。

55,500千円

主要事業
[都市-4, 5]

業務改革

拡

データ利活用の環境整備やEBPM※の推進

データを利活用できる人材の育成や、データを活用した企画立案の伴走支援のほか、庁内各課に蓄積されたデータを活用可能な状態にする環境整備を実施します。

57,000千円

主要事業
[政策-1]

拡

庁内業務における生成AI利活用の推進

庁内の計画やマニュアル等を参照して回答するRAG(検索拡張生成)の導入に向けた実証実験を行うなど、生成AIの更なる利活用を図ります。

3,000千円

主要事業
[総務-8]

新

デジタル技術の導入による技術人材の育成

本市施設においてBIM※データを試行的に作成し、大学と共同研究を行い、有効な活用方法の検討を行います。

2,300千円

※ Building Information Modeling
の略語で、建築に必要な情報を一つの3Dモデルに集約するデータベース

主要事業
[都市-19]

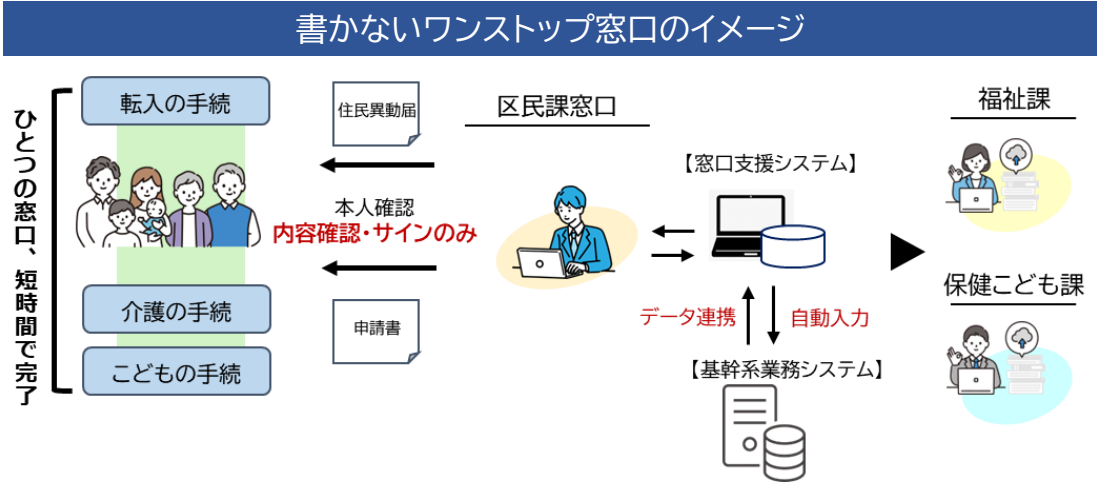
新

企業人材の活用による行政課題解決

専門的な知識や業務経験を有する企業の社員を受け入れ、複雑化・多様化する行政課題の解決につなげます。

5,600千円

主要事業
[総務-5]



顧客ハラスメント対策



建築関係手続き等のオンライン化



区における自主自立のまちづくり

主要事業
[文市-7]

支援の方針
まちづくり

- (1)地域の魅力をいかした特色あるまちづくりを推進します。
- (2)住民同士がつながり、支え合える環境づくりと、地域で活動する個人・団体、多様な主体の連携を促進します。
- (3)住民が地域活動に参加しやすく、また、生きがいを持てるような仕組みを作ります。
- (4)デジタル技術を活用することで、地域の課題解決や魅力向上を図り、暮らしやすく、持続可能なまちづくりを推進します。

中央区

【拡】 地域と企業等を結ぶ応援事業 1,500千円

地域団体と地域貢献に関心のある企業や学校等をマッチングして連携事業を創出することで、多様化する地域課題の解決や地域活性化を図ります。



【拡】 大学生との交流による多文化共生事業 3,000千円

町内自治会等の地域団体と大学生(留学生含む)や在住外国人との交流の機会を創出することで、地域の活性化や多文化共生の推進を図ります。



東区

【拡】 地域力パワーアップ大作戦 1,236千円

地域団体等と地域貢献したい事業者等をつなぎ、地域課題の解決を図るとともにコミュニティを活性化させます。



【新】 まちづくりリーダーのたね事業 1,200千円

子どもと大人がともに地域課題の解決に取り組み、将来の主体的なまちづくりへの参画に繋がるよう、世代間交流による地域の活性化を推進します。



西区

【拡】 西区での野菜摂取促進事業 448千円

野菜摂取推定量の測定と、生産者や民間企業等の地域資源と協働した啓発により、区民の野菜摂取を促進し、西区の健康課題の改善を目指します。



【拡】 西区チャンネル配信事業 955千円

地域独自の魅力や活動等を動画で配信することで、子ども・若者世代に地域に関心を持ってもらい、地域行事への参加・協力のきっかけとし、新たな担い手確保につなげます。



南区

【拡】 デジタルでつなぐ“たからもの”活用事業 1,035千円

デジタルスタンプラリーを実施することで、あらゆる世代にデジタル技術への関心を高めるとともに、区の魅力を発信し、認知度の向上につなげます。



【拡】 eスポーツによる健康まちづくり事業 574千円

高齢者の健康増進、デジタル機器への抵抗感の低減を図るとともに、幅広い年齢層の住民を対象とした体験会等を開催し、世代間交流やコミュニティの活性化につなげます。



北区

【新】 北区民の血管を守ろうプロジェクト 300千円

企業・大学・行政が連携し、北区民が適正体重を維持するための生活習慣の継続とヘルスリテラシー向上を目指すため、行動変容を促す取組を推進します。



【拡】 北区まちづくり懇話会 1,047千円

人口減少に伴う地域の担い手不足や外国人の受入れなど、様々な地域課題について協議し、暮らしやすいまちづくりを目指します。



5区共通

地域担当職員研修の実施 1,000千円

課題分析等のまちづくりコーディネーターとしての資質向上のための研修を実施します。

まちづくり
推進経費

各区 19.8百万円

共通 1百万円

計 1億円

合併3町における新市基本計画に基づく事業

合併した地域における着実な都市基盤の整備

	道路整備	水道・下水道の整備	義務教育施設の整備	農業基盤整備の推進	計画の進捗状況(累計) ① 事業費ベース =(執行額)/(計画額) ② 事業数ベース =(完了事業)/(計画事業)
富合地域 2,014百万円	80,000千円	1,137,435千円	491,509千円	296,666千円	①246億円/158億円 ②42事業/49事業
城南地域 2,233百万円	0千円	1,293,003千円	0千円	155,631千円	①315億円/211億円 ②69事業/70事業
植木地域 2,077百万円	25,000千円	885,464千円	0千円	263,420千円	①366億円/290億円 ②48事業/58事業

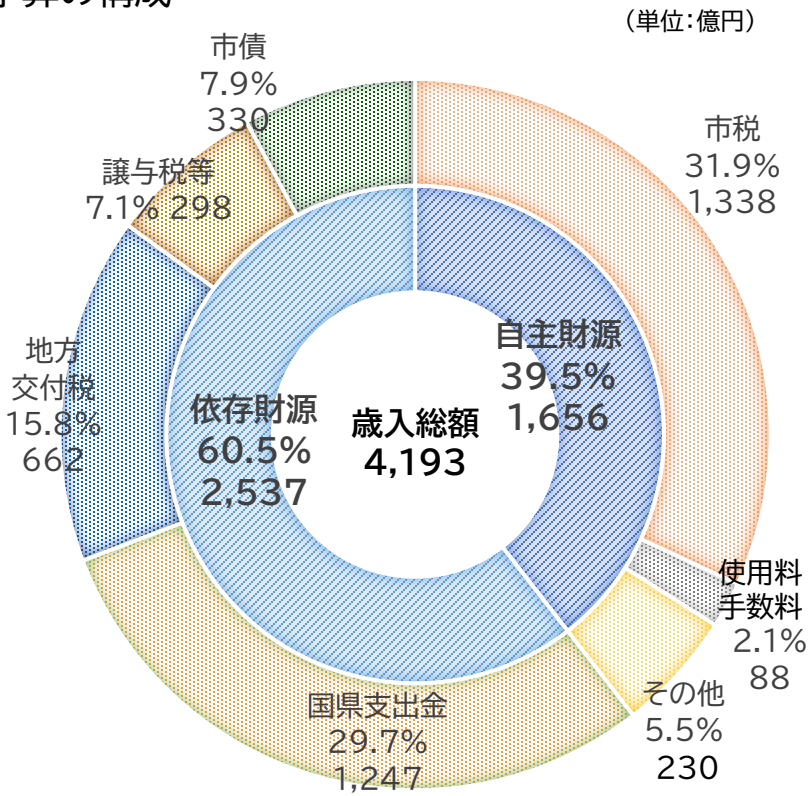
※計画事業以外の関連事業を含む。

令和7年度 当初予算(案)のポイント 関連資料

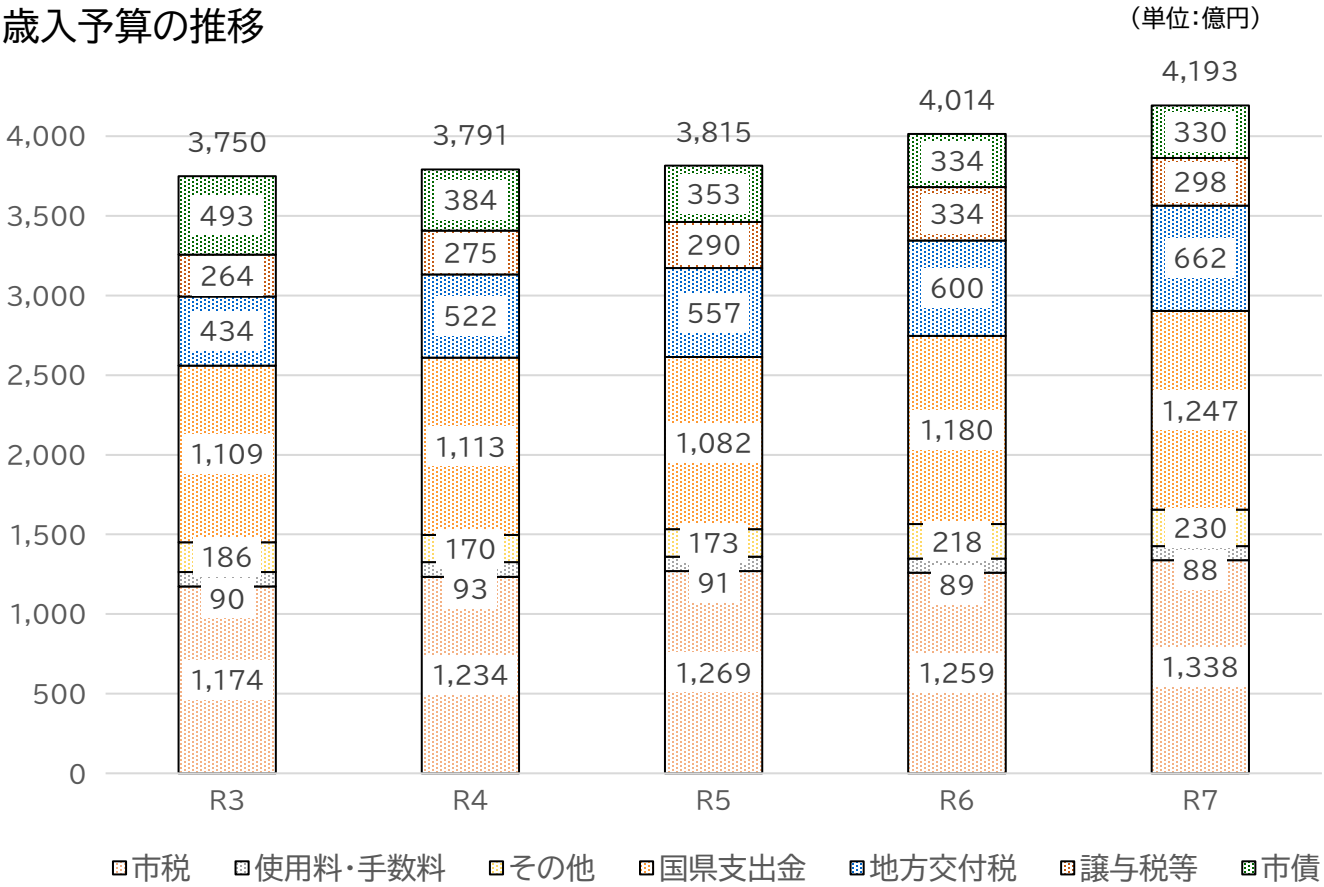
一般会計 歳入予算の内訳

- 市税は、定額減税の影響による個人市民税の増などにより、市税全体では前年度から79億円増の1,338億円(前年度比+6.3%)
- 国県支出金は、児童手当負担金や施設型給付費に係る国庫支出金の増などにより、前年度から67億円増の1,247億円(対前年度比+5.7%)
- その他は、埋蔵文化調査受託事業収入やデジタル基盤改革支援補助金等の諸収入の増により、前年度から12億円増の230億円(対前年度比+5.5%)

歳入予算の構成



歳入予算の推移

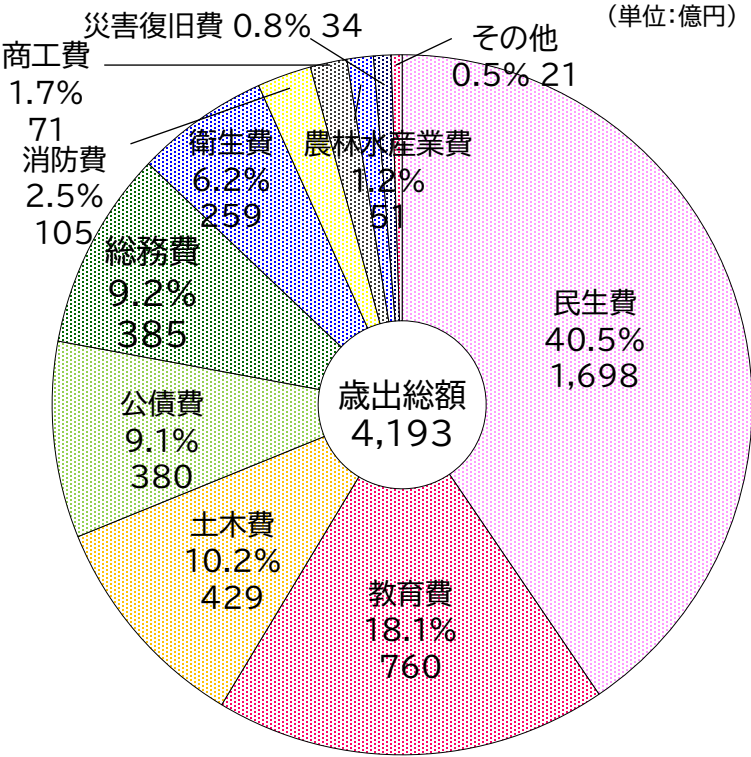


※四捨五入の関係で、足し上げた数値の合計や差引きの数値が一致しない場合があります。

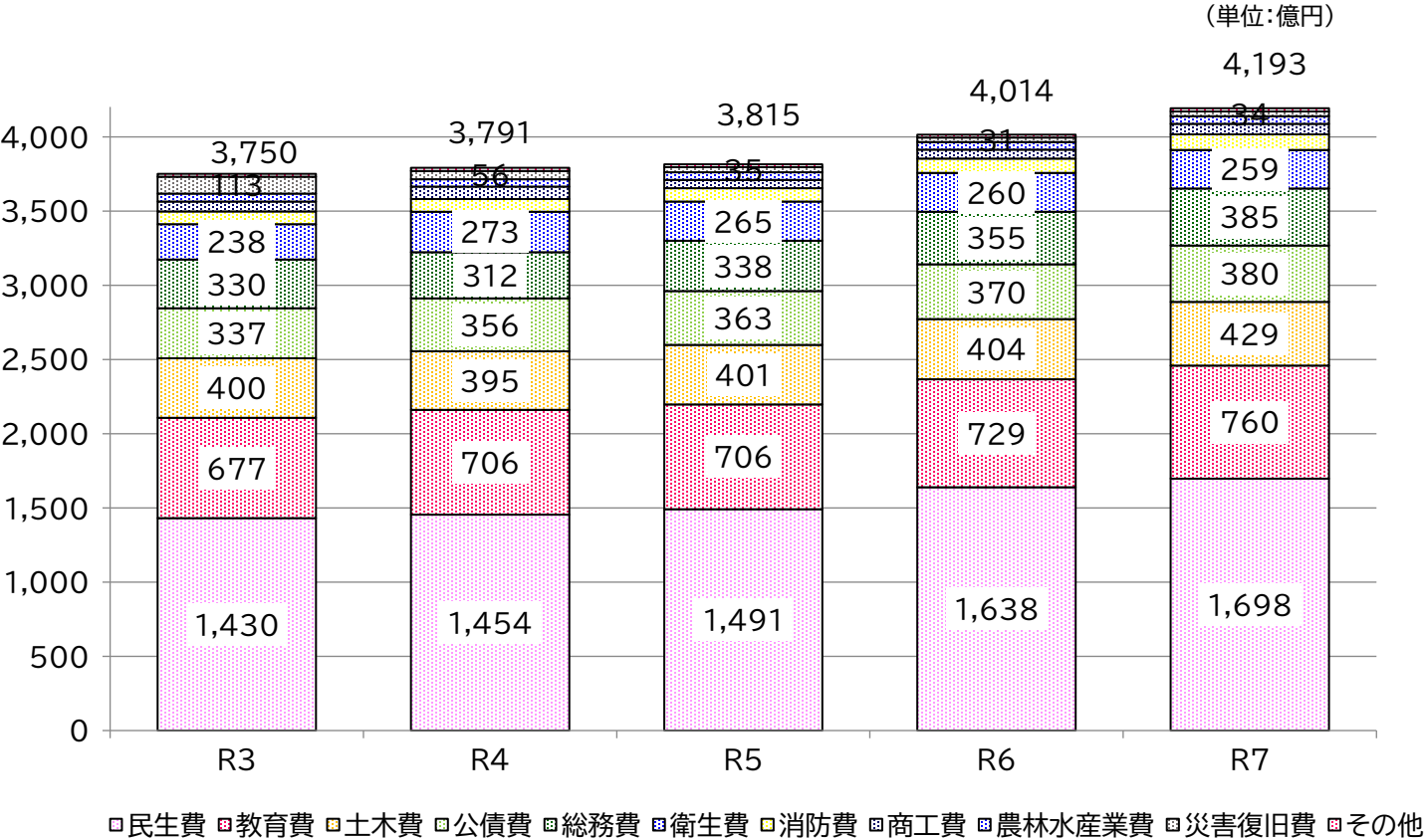
一般会計 歳出予算(目的別)の内訳

- 民生費は、歳出全体の約4割を占め、児童手当や施設型給付費の増などにより、前年度から60億円増の1,698億円(対前年度比+3.7%)
- 教育費は学校施設の長寿命化に係る経費の増などにより、前年度から31億円増の760億円(対前年度比+4.3%)
- 総務費は退職手当基金の積み立てや5年毎の国勢調査に係る経費の増などにより、前年度から30億円増の385億円(対前年度比+8.6%)

歳出(目的別)の構成



歳出(目的別)の推移

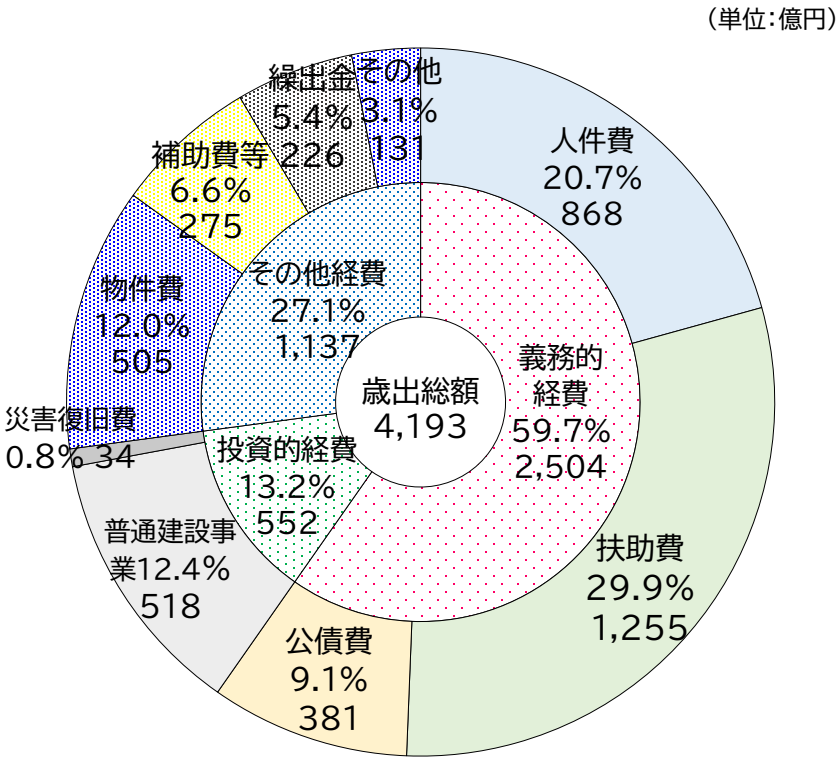


※四捨五入の関係で、足し上げた数値の合計や差引きの数値が一致しない場合があります。

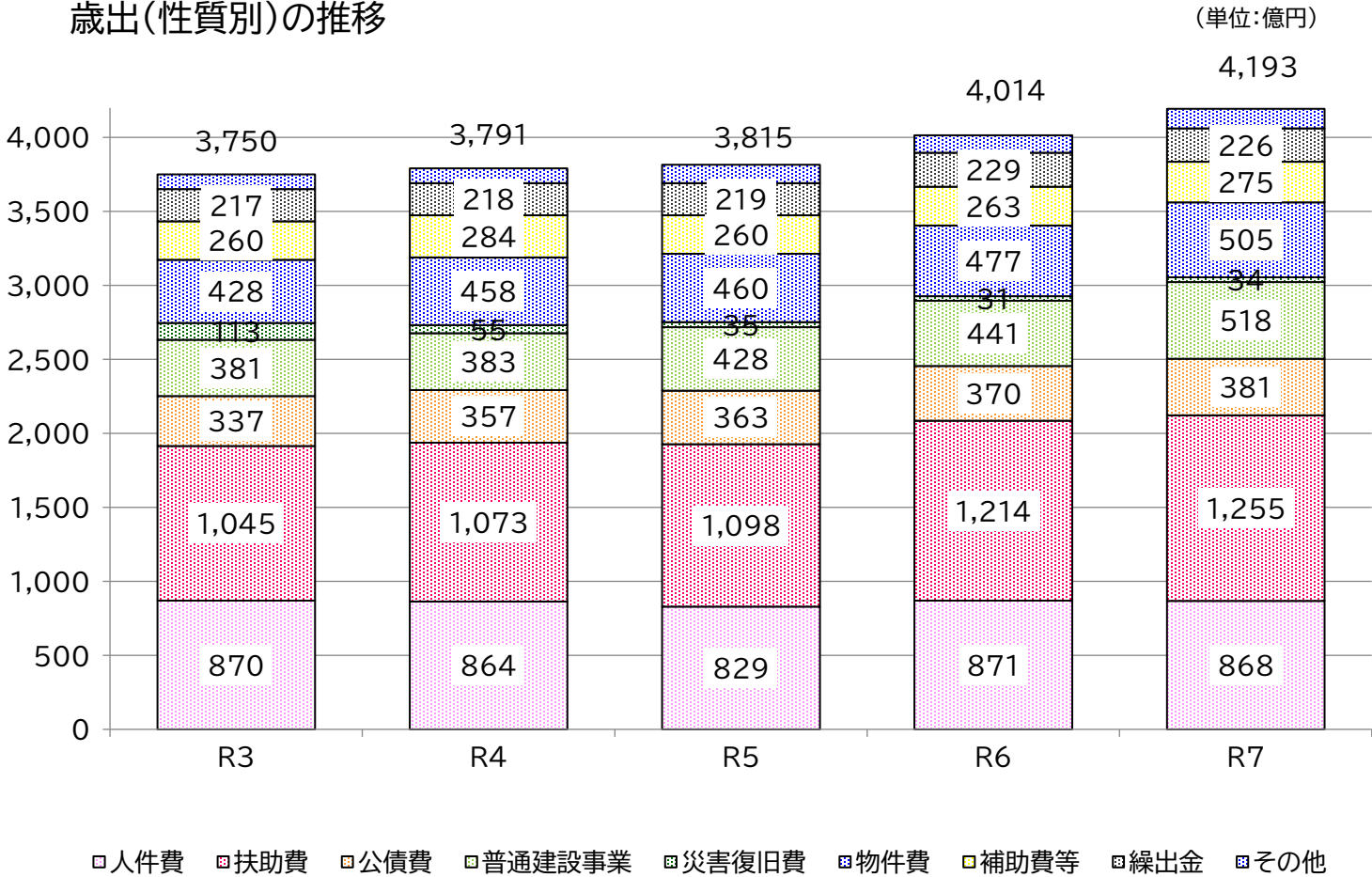
一般会計 歳出予算(性質別)の内訳

- 人件費、扶助費、公債費の義務的経費は全体の約6割を占め、前年度から48億円増の2,504億円(対前年度比+2.0%)
- 扶助費は、児童手当や施設型給付費などの増により、前年度から41億円増の1,255億円(対前年度比+3.4%)
- 普通建設事業は、義務教育施設や市営住宅等の長寿命化に係る経費の増などにより、前年度から77億円増の518億円(前年度比+17.5%)

歳出(性質別)の構成



歳出(性質別)の推移



※四捨五入の関係で、足し上げた数値の合計や差引きの数値が一致しない場合があります。

関連資料 国補正予算に対応した令和6年度補正予算(案)計上事業

29事業 99.3億円

国の令和6年度補正予算に対応し、物価高騰対策や、防災・減災、国土強靱化を推進する事業を展開します。

(単位:千円)

	局	課	事業名	最終予算額
Ⅰ. 日本経済・地方経済の成長(4事業)				338,517
	新たな地方創生施策(「地方創生2.0」)の展開			338,517
	農水局	農業政策課	産地パワーアップ事業	196,753
			担い手確保・経営強化支援事業	21,381
			食料産業・6次産業化支援事業	110,000
			県営元三・木部地区農地整備事業(経営体育成型)	10,383
Ⅱ. 物価高の克服(6事業)				4,632,486
	足元の物価高に対するきめ細かい対応			4,632,486
	文化市民局	生活安全課	地域防犯強化推進事業	60,000
	健康福祉局	健康福祉政策課	令和6年度電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業	3,369,700
			病院事業会計繰出金	18,098
	健康福祉局 こども局	介護保険課ほか	社会福祉施設等物価高騰対策緊急支援事業	96,488
	経済観光局	経済政策課	LPガス価格高騰対策緊急支援事業	1,085,000
	農水局	農業政策課	農業水利施設電気料金高騰対策緊急支援事業	3,200
Ⅲ. 国民の安心・安全の確保(19事業)※事業数、補正額には、国の補助内示に伴う減額補正分を含む				4,955,680
	防災・減災、及び国土強靱化の推進			4,949,880
	政策局	危機管理課	避難所生活環境改善事業	100,000
	健康福祉局	障がい福祉課	障がい者支援施設等における耐震化整備等支援事業	1,594
	都市建設局	移動円滑推進課	港湾整備県事業負担金	209,000
		土木総務課ほか	防災・減災、国土強靱化等対応経費	3,037,676
		土木総務課	国直轄事業負担金	385,500
		土木総務課	急傾斜地崩壊対策経費	13,000
	農水局	農業政策課	県営水利施設整備事業(基幹ストマネ)	8,400
			水産生産基盤整備経費	45,785
			水産物供給基盤機能保全経費	168,000
	教育委員会	学校施設課	学校施設等整備関連経費	980,925
	「誰一人取り残されない社会」の実現			5,800
	こども局	こども家庭福祉課	児童養護施設等ICT化推進事業	5,800
合 計 (29事業)				9,926,683

関連資料 DXアクションプラン関連事業一覧

39事業 21.6億円

令和7年度当初予算(案)に計上している主なDXアクションプラン関連事業

※下記の表には再掲事業があるため No.と事業数は一致しない

5つの重点プロジェクト ①行かない・書かない・待たない窓口の推進 ②教育DX ③介護DX ④MaaS推進事業 ⑤マイナンバーカードの利活用拡大

(単位:千円)

局 名	課 名	No.	重点	事 業 名	事 業 費
(1)窓口DX					345,527
総務局	総務課	1	①	情報公開関係経費(キャッシュレス決済)	128
	管財課	2	①	市役所駐車場管理運営経費(キャッシュレス決済)	719
	情報政策課	3	①・⑤	電子自治体推進経費(書かないワンストップ窓口導入)	185,660
		4	①・⑤	電子自治体推進経費(電子申請サービス)	7,881
財政局	税制課	5	①	セミセルフレジ運用経費	2,700
文化市民局	地域政策課	6	①	窓口改革推進経費(セミセルフレジ運用)	12,976
		7	①	社会保障・税番号制度推進経費(コンビニ交付)	84,813
	文化財課	8	①	記念館活用事業(キャッシュレス決済)	5,353
健康福祉局	健康福祉政策課	9	①	墓地管理運営経費(キャッシュレス決済)	477
都市建設局	都市デザイン課	10	①	景観形成推進経費(行政手続のオンライン化)	11,740
	建築指導課	11	①	建築行政手続DX推進経費	31,200
消防局	管理課	12	①・⑤	消防行政DX推進事業(行政手続のオンライン化)	453
	会計総室	13	①	会計管理経費(eLTAXの導入)	1,427
(2)こども・教育DX					1,490,678
こども局	こどもの権利サポーターセンター	14		こどもの権利サポーターセンター運営経費(チャット相談)	8,170
	こども政策課	15	⑤	結婚支援事業(AIマッチングシステム)	2,288
	こども支援課	16		子育て応援アプリ関連経費	660
	保育幼稚園課	17	①	公立保育所キャッシュレス化推進経費	2,170
教育委員会	教育政策課	18	②	学校事務DX推進経費	10,100
	教育改革推進課	19	②	部活動改革関連経費	5,500
		20	②	教職員の働き方改革関連経費	4,900
	教育センター	21	②	教育の情報化推進経費	1,449,400
		22	②	教育の情報化推進経費(高校)	2,540
		23	②	研修履歴システム及び教員研修プラットフォームシステム導入経費	2,550
	必由館高校	24	②	市立高校改革関連経費	2,400

局 名	課 名	No.	重点	事 業 名	事 業 費
(3)保健・福祉DX					113,935
健康福祉局	健康づくり推進課	25		健康ポイント事業	71,900
	高齢福祉課	26		地域包括ケアシステム推進経費	955
	介護保険課	27	③	介護情報連携に向けたデジタル化	41,080
(4)産業・観光DX					24,000
経済観光局	経済政策課	28		中小企業等DXアクセラレーション事業	24,000
(5)都市・交通DX					40,475
都市建設局	移動円滑推進課	29	④	コミュニティ交通推進経費(AIデマンドタクシー運行)	37,550
	営繕課	30		技術人材育成・DX推進事業	1,100
	道路保全課	31		道路橋梁維持修繕経費(BMSS導入)	1,825
(6)地域・防災DX					24,792
総務局	情報政策課	32	①・⑤	電子自治体推進経費(書かないワンストップ窓口導入) ※再掲	(185,660)
		33	①・⑤	電子自治体推進経費(電子申請サービス) ※再掲	(7,881)
文化市民局	地域活動推進課	34	⑤	くまもとポイント事業	24,000
こども局	こども政策課	35	⑤	結婚支援事業(AIマッチングシステム) ※再掲	(2,288)
消防局	管理課	36		消防行政DX推進事業(Live119)	792
(7)市役所DX					116,028
政策局	データ戦略課	37		データ利活用推進経費	28,100
総務局	管財課	38		公用車管理関係経費(公用車予約貸出管理システム)	1,788
	情報政策課	39		電子自治体推進経費(生成AI(RAG)の試行導入等)	9,210
		40		庁内ネットワーク整備経費(テレワーク環境整備)	71,223
	契約政策課	41		電子入札システム関連経費	634
	会計総室	42		会計管理経費(電子請求の導入)	5,073
合 計 (39事業)					2,155,435

※事業数や合計金額は再掲事業を含んでいない

関連資料 合併3町における新市基本計画事業(関連事業を含む)

(単位:千円)

① 富合 地域	項 目	予算額	内 容
	道路整備	80,000	富合宇土南北線改良事業
	義務教育施設整備	491,509	富合小・富合中校舎改築事業等
	農林事業	296,666	土地改良事業、湛水防除事業等
	福祉施設整備	900	障がい者住宅整備助成
	水道事業	451,435	水道施設整備等
	下水道事業	686,000	下水道施設整備等
	その他	7,776	小型動力ポンプ購入事業
	合 計	2,014,286	
② 城南 地域	項 目	予算額	内 容
	農林事業	155,631	土地改良事業、湛水防除適正化事業等
	福祉施設整備	900	障がい者住宅整備助成
	水道事業	252,003	水道施設整備等
	下水道事業	1,041,000	下水道施設整備等
	その他	783,082	火の君文化センター改修工事等
	合 計	2,232,616	
③ 植木 地域	項 目	予算額	内 容
	道路整備	25,000	広住小野第1号線改良事業
	農林事業	263,420	土地改良事業等
	福祉施設整備	700	障がい者住宅整備助成
	水道事業	134,464	水道施設整備等
	下水道事業	751,000	下水道施設整備等
	その他	902,203	植木文化センター改修工事等
	合 計	2,076,787	

関連資料 主な新規・拡充事業(重点課題対応経費)

令和7年度当初予算では、前年度に引き続き、重点課題対応経費にルールを設け、各局の積極的な事業のビルド＆スクラップを促しました。

I 主な新規事業

[①重点事項] (単位:千円)

局 名	課 名	項 目	予 算 額
こども局	保育幼稚園課	1 こども誰でも通園制度関連経費	52,900
		2 こどもの性被害防止対策支援事業(保育所等)	26,300
環境局・都市建設局	環境政策課・みどり公園課	3 江津湖再生プロジェクト事業	116,300
経済観光局	企業立地推進課	4 立地企業支援事業	5,000
農水局	農業政策課	5 半導体関連企業の熊本進出を契機とした海外への食の 魅力発信事業	16,000
都市建設局	交通企画課	6 交通需要マネジメント経費	27,700
		7 公共交通のあり方検討経費	10,000
	自転車利用推進課	8 自転車ヘルメット着用推進事業	35,000
	住宅政策課	9 住環境整備促進調査経費	13,000

[②重点事項以外] (単位:千円)

局 名	課 名	項 目	予 算 額
政策局	庁舎周辺まちづくり課	1 庁舎周辺まちづくり推進経費	55,000
総務局	管財課ほか	2 カスタマーハラスメント対策関連経費	50,930
財政局	税制課	3 宿泊税賦課事務経費	113,000
経済観光局	観光政策課	4 観光資源魅力創出事業	10,000
都市建設局	営繕課	5 技術人材育成・DX推進事業	2,300
教育委員会	教育改革推進課	6 教職員の働き方改革関連経費	4,900

II 主な拡充事業

[①重点事項] (単位:千円)

局名	課名	項目	R7年度	R6年度	対前年 増加額
こども局	こども支援課	1 こども医療費助成事務委託事業	104,800	82,800	22,000
	こども家庭福祉課	2 こどもの居場所支援事業	26,800	10,000	16,800
		3 子育て支援短期利用経費	34,400	4,900	29,500
		4 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	89,080	44,631	44,449
	保育幼稚園課	5 私立保育所延長保育促進経費	160,000	135,000	25,000
		6 幼稚園型一時預かり事業	162,300	133,800	28,500
環境局	水保全課	7 白川中流域かん養推進経費	90,900	65,900	25,000
教育委員会	放課後児童育成課	8 児童育成クラブ関連経費	2,319,400	1,905,400	414,000

[②重点事項以外] (単位:千円)

局名	課名	項目	R7年度	R6年度	対前年 増加額
政策局	国際課	1 外国人受入環境整備事業	10,400	2,800	7,600
総務局	改革プロジェクト推進課・人事課	2 障がい者雇用促進及び活躍機会創出経費	94,200	19,603	74,597
健康福祉局	健康づくり推進課	3 受動喫煙防止対策事業	39,380	12,000	27,380
		4 がん検診経費	614,400	566,200	48,200
環境局	脱炭素戦略課	5 くまもと脱炭素循環共生圏推進経費	43,200	4,300	38,900
経済観光局	雇用対策課	6 UIターン移住促進雇用対策事業	39,900	29,500	10,400
	起業・新産業支援課	7 地域スタートアップ等支援事業	64,300	43,000	21,300
	誘致戦略課	8 MICE誘致戦略事業	97,600	90,000	7,600
都市建設局	都市デザイン課	9 景観形成推進経費	24,300	15,400	8,900
	建築指導課	10 建築行政手続きDX推進経費	31,200	22,400	8,800
消防局	管理課	11 消防行政DX推進事業	14,353	12,029	2,324
教育委員会	教育改革推進課・指導課	12 部活動改革関連経費	66,500	14,231	52,269
教育委員会	総合支援課	13 学級支援員派遣経費	481,300	408,300	73,000

関連資料 主な廃止・見直し事業

I 主な廃止事業

(単位:千円)

局 名	課 名	項 目		廃止理由	対 前 年 削 減 額
健康福祉局	感染症予防課	1	緊急風しん対策事業	b	▲ 100,000
経済観光局	観光政策課	2	姉妹都市(福井市)30周年記念事業	b	▲ 3,000
	スポーツ振興課	3	第3次熊本市生涯スポーツマスタープラン策定事業	b	▲ 7,600
	雇用対策課	4	青少年地元定着促進事業	b	▲ 990
農水局	農業政策課	5	農地利用効率化等支援交付金	c	▲ 5,375
		6	農業次世代人材投資事業	c	▲ 20,216
		7	新規就農者育成総合対策事業	c	▲ 66,921
		8	土砂置場整備経費	c	▲ 5,000
都市建設局	建築指導課	9	一般管理経費(政策)	b	▲ 3,010
	都市デザイン課	10	中心市街地面的整備検討支援経費	b	▲ 3,960
	移動円滑推進課	11	MaaS推進経費	c	▲ 56,000
教育委員会	学務支援課	12	留学生交流経費	b	▲ 6,062

(廃止理由)

- a. より効果の高い事業への転換により廃止・休止
- b. 社会情勢・市民ニーズの変化や、事業の完了等により廃止
- c. 他の既存事業との統合等により廃止

II 主な見直し事業

(単位:千円)

局 名	課 名	項 目		見直し内容	R7年度	R6年度	対 前 年 削 減 額
政策局	データ戦略課	1	スマートシティ推進経費	a	29,530	34,520	▲ 4,990
	広報課	2	広報媒体を使った広報経費	a	42,360	44,330	▲ 1,970
財政局	税制課	3	初期未納対策事務経費	a	139,800	145,960	▲ 6,160
文化市民局	地域政策課	4	窓口改革推進経費	a	55,400	75,587	▲ 20,187
	総務管理課	5	旧細川刑部邸管理経費	b	733	2,613	▲ 1,880
こども局	児童相談所	6	児童虐待防止のためのSNS相談事業	c	0	3,400	▲ 3,400
経済観光局	雇用対策課	7	地場企業インターンシップ促進事業	a	16,000	30,600	▲ 14,600
		8	地方創生移住支援事業	a	44,400	87,200	▲ 42,800
		9	合同就職説明会開催経費	a	18,000	28,600	▲ 10,600
	起業・新産業支援課	10	創業者チャレンジ支援・育成事業	a	9,000	15,400	▲ 6,400
		11	地域スタートアップ等支援事業	a	37,100	43,000	▲ 5,900
	観光政策課	12	熊本城シャトルバス運行経費(臨時増便分)	a	2,506	4,638	▲ 2,132
都市建設局	移動円滑推進課	13	移動等円滑化推進経費	a	21,300	34,160	▲ 12,860
消防局	管理課	14	庁舎・出張所管理経費	a	137,266	149,527	▲ 12,261
教育委員会	-	15	少人数学級経費	a	0	137,632	▲ 137,632
	指導課	16	プール更新見直し	a	▲ 150,000	0	▲ 150,000
人事委員会事務局	-	17	任用事務関係経費	b	23,886	25,320	▲ 1,434

(見直し内容)

- a. 事業内容の見直し(単価や数量、手法等)による削減
- b. 一部事業の廃止や先送りなどの見直しによる削減
- c. 他の既存事業等の活用や統合、民間活用等の見直しによる削減

関連資料 渋滞対策関連予算の全体像

15事業 112億円

I ソフト対策事業(交通渋滞の緩和、公共交通の機能強化・利用促進等)

(単位:千円)					
No.	局名	課名	事業名	事業概要	令和7年度 当初予算額
1	健康福祉局	高齢福祉課	■ 熊本市おでかけICカード関係経費	熊本市おでかけICカードに係るバス事業者等への運行負担金等に要する経費	655,500
2		障がい福祉課	■ 熊本市おでかけICカード関係経費(障がい者分)	熊本市おでかけICカードに係るバス事業者等への運行負担金等に要する経費	180,300
3	都市建設局	交通企画課	■ 公共交通利用促進事業	公共交通の利用促進に取り組む交通事業者の支援等に要する経費	20,000
4			■ 交通需要マネジメント経費	ルートマネジメントや快速バスの実証実験等に要する経費	27,700
5			■ バス交通運行効率化関係経費	公共交通ネットワークの維持確保及びバス路線の持続可能な公共交通ネットワーク形成を促進するため、県と協調した支援に要する経費	8,800
6			■ 公共交通のあり方検討経費	持続可能な地域公共交通の実現に向けた検討等に要する経費	10,000
7			■ 熊本地域公共交通計画推進経費	熊本地域公共交通計画の改定に要する経費	9,000
8			■ 自動運転社会実装推進経費	運転士不足等の課題解決に向けた自動運転バスの実証実験に要する経費	152,000
9		移動円滑推進課	■ コミュニティ交通推進経費	公共交通空白地域等における乗合タクシー等の運行やコミュニティ交通のサービス水準検討に要する経費	61,000
10			■ 交通結節機能強化対策検討経費	新水前寺駅付近へのバスベイ設置に係る詳細設計や上熊本駅をはじめとする熊本都市圏北東部の公共交通機能強化検討に要する経費	20,800
小計					1,145,100

関連資料 渋滞対策関連予算の全体像(つづき)

Ⅱ ハード対策事業(渋滞箇所・関連箇所の道路等のハード整備)

(単位:千円)

No.	局名	課名	事業名	事業概要	令和7年度 当初予算額
1	都市建設局	市街地整備課	■ 熊本駅新幹線口駅前広場交通対策経費	熊本駅新幹線口駅前広場の渋滞解消に向けた改修工事等に要する経費	318,900
2		土木総務課	■ 半導体関連企業集積交通対策経費	半導体関連産業集積に伴う交通対策に要する経費	367,300
3			■ 熊本西環状道路整備経費	熊本都市圏内外の人流・物流、災害時活動を支援するため、「池上工区」及び「池上インター線」の令和7年度開通、「砂原工区」の早期開通に向けた整備に要する経費	5,704,003
4			■ 都市計画道路等の計画的な整備	(都)坪井龍田陳内線や国道501号等、都市の骨格を形成する都市計画道路等の幹線道路整備に要する経費	3,542,268
5			■ 10分・20分構想調査検討経費	10分・20分構想に係る新たな3つの高規格道路の概略ルート案の検討に要する経費	121,000
小計					10,053,471
Ⅰ・Ⅱ 合計					11,198,571

関連資料 半導体関連予算の全体像

32事業 10.8億円(前年度:21事業 11.2億円)

※下記の表には再掲事業があるため No.と事業数は一致しない

(単位:千円)

No.	プロジェクト	取組の方向性	事業名	局名	事業概要	令和7年度 当初予算額
01	戦略的な 土地利用検証	半導体関連産業の集積を見据えた 誘致活動の展開	■ 半導体関連企業誘致強化事業	経済観光局	半導体関連企業の立地促進のための誘致活動の実施	28,700
02			■ 立地企業支援事業		進出企業に対するフォローアップ支援の実施	4,000
03	人材確保・育成	人材不足への対応	■ 合同就職説明会開催経費	経済観光局	半導体関連産業も含めた合同就職説明会の開催	18,000
04			■ 地場企業インターンシップ促進事業		半導体関連産業も含めたインターンシップマッチング会の開催(対象:県内外大学生等)	16,000
05			■ しごと学びWEBライブ事業		半導体関連産業も含めた地場企業と地域産業を学ぶ機会の創出(対象:小中学生)	10,000
06			■ UIターン移住促進雇用対策事業		半導体関連産業も含めた人材確保のため、UIターンサポートデスク運営と移住サイトの改修を実施	39,900
07				■ 首都圏プロモーション経費	政策局	首都圏におけるネットワーク(TOKYO BASE 096)を活用した関係人口の創出及び関係部局と連携した情報発信
08	国際交流・広報	台湾からの移住者の受入環境整備	■ 台湾との交流促進経費	政策局	半導体関連企業進出に伴う多文化共生推進事業と台湾からの移住者支援	7,787
09		台湾に対するPR	■ 台湾との交流促進経費		台湾・高雄市との交流促進事業の実施	1,313
10			■ 台湾誘客経費	経済観光局	県内自治体と連携した台湾からの観光誘客プロモーションの実施	8,000
11			■ 半導体関連企業の熊本進出を契機とした海外への食の魅力発信事業	農水局	本市の農水産物・加工品の販路拡大の取組を実施	16,000
12			■ 首都圏プロモーション経費	政策局	首都圏在住の台湾出身者等に向けたワークショップやポップアップイベントの実施	5,000
次頁につづく						

関連資料 半導体関連予算の全体像(つづき①)

(単位:千円)

No.	プロジェクト	取組の方向性	事業名	局名	事業概要	令和7年度 当初予算額
13	国際交流・広報	外国人受入環境整備	■ ホームページ関係経費	政策局	外国人にもわかりやすい「やさしい日本語」への変換システムの導入	1,120
14			■ SNSを活用した情報発信経費		LINEによる情報発信の多言語化(英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語、ベトナム語)	1,650
15	交通課題対策	企業誘致を見据えた交通インフラ対策の実施	■ 半導体関連企業集積交通対策経費	都市建設局	半導体関連産業集積に伴う交通対策のための工事及び設計等	367,300
16		交通結節機能の強化対策	■ 交通結節機能強化対策検討経費		新水前寺駅付近へのバスベイ設置に係る詳細設計や上熊本駅をはじめとする熊本市圏北東部の公共交通機能強化検討	20,800
17		熊本港の機能強化や都市圏3連絡道路の実現	■ 港湾整備県事業負担金		熊本港における耐震強化岸壁等の整備	218,000
18			■ 10分・20分構想調査検討経費		住民参加型の道路計画を踏まえた概略ルート案等の検討	121,000
19	住環境対策	外国人受入環境整備	■ 台湾との交流推進経費	政策局	No.08 再掲	—
20			■ 外国人受入環境整備事業		地域日本語教室の開催及び「生活」に密着した体系的な日本語教育カリキュラムの構築	10,220
21			■ 町内自治振興育成経費	文化市民局	自治会未加入世帯を対象とした加入促進及び在住外国人を対象とした自治会加入リーフレット多言語版の印刷	100
22			■ 日本語指導環境整備事業	教育委員会	日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒等に対する、継続的な指導、編入初期の見守り及び通訳ボランティア派遣等	30,200
23			■ 大学生との交流による地域活性化及び多文化共生事業	中央区役所	町内自治会等の地域団体と大学生(留学生含む)や在住外国人との交流の機会を創出することで、地域の活性化や多文化共生を推進	3,000
24		人口流入に対する適切な居住誘導	■ 住環境整備促進調査経費	都市建設局	半導体企業進出で変化する住宅需要に対応するための調査の実施	13,000
次頁につづく						

関連資料 半導体関連予算の全体像(つづき②)

(単位:千円)

No.	プロジェクト	取組の方向性	事業名	局名	事業概要	令和7年度 当初予算額
25	環境保全対策	地下水かん養対策の推進	■ 広域水保全体制運営経費	環境局	くまもと地下水財団と連携した湛水事業の実施	11,430
26			■ 白川中流域かん養推進経費		白川中流域における水田湛水の協力農家に対する助成	90,900
27			■ 地下水位観測経費		半導体企業進出に伴う地下水量への影響監視、観測井の機器更新	10,002
28			■ 節水対策経費		節水市民運動を展開し、節水啓発と器具普及を推進	4,100
29		水質保全対策の強化	■ 水質保全対策強化経費(地下水)		指針超過が確認されたPFOS、PFOAの継続監視のため、井戸の調査を実施	6,100
30			■ 水質保全対策強化経費(公共用水域)		公共用水域における要監視項目等の拡充・調査の実施	6,100
31			■ 大都市水質主管担当者会議経費		半導体企業の進出に伴う課題について各政令市と意見交換を実施	800
32			■ 有機フッ素化合物対策経費		PFASの調査・対策のため、専門家会議を設置し意見・助言を徴取	1,490
33		地下水保全対策の推進	■ くまもと水ブランド情報発信経費		地下水保全の取組を『くまもと水ブランド』としてPRし、地下水保全活動に取り組む人材の育成を推進	4,550
計						1,084,962

関連資料 こども局予算の全体像

147事業 688億円(前年度153事業 620億円)

※教育委員会事務局の取組に係る予算は計数に含めていない

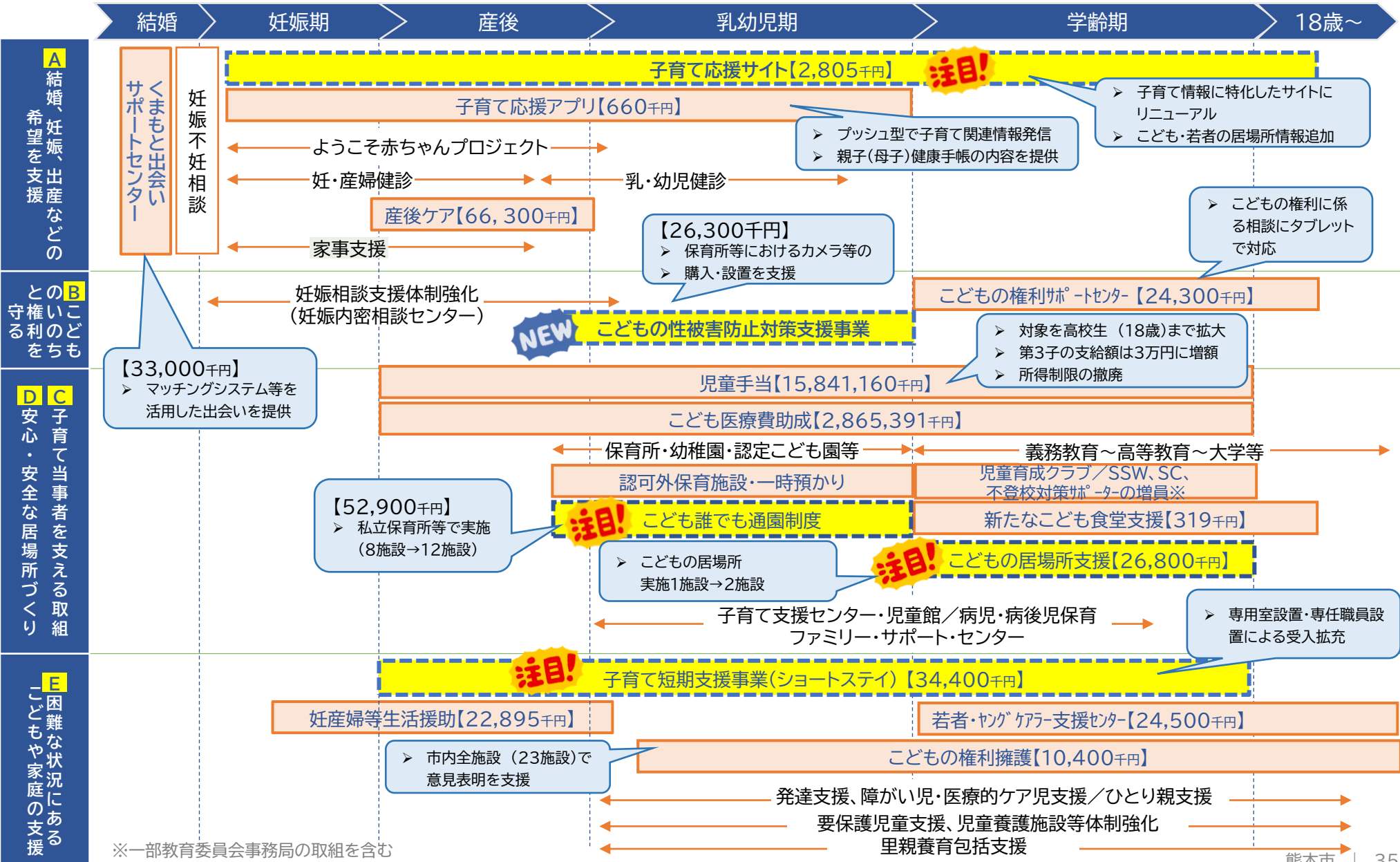
こどもが輝き、
若者が希望を抱く
まちの実現

① 結婚、妊娠、出産などの希望(A)を叶えるための支援を行うとともに、こどものいのちと権利を守り(B)、子育て当事者を支える取組や、安心・安全な居場所づくり(C・D)を推進します。

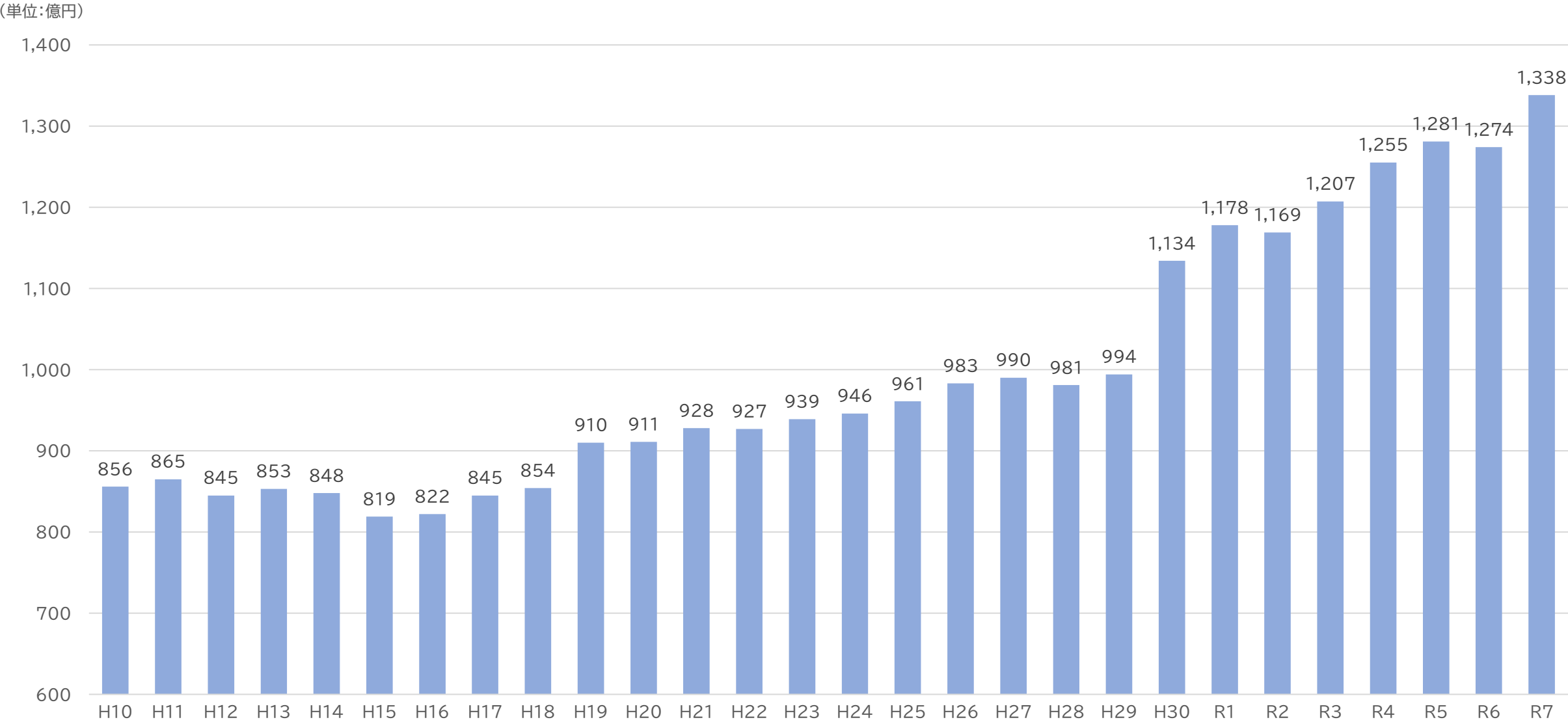
② すべてのこどもの最善の利益を確保するため、困難な状況にあるこどもや子育て家庭を支援(E)します。

令和7年度
予算編成のポイント

- こども・若者、子育て世代の満足度・安心感の向上につながる支援の充実に努めます。
- 対人・対面での相談支援により、丁寧に寄り添い対応するとともに、それぞれのニーズに応じた施策をご利用いただけるよう、わかりやすい周知・広報に努めます。

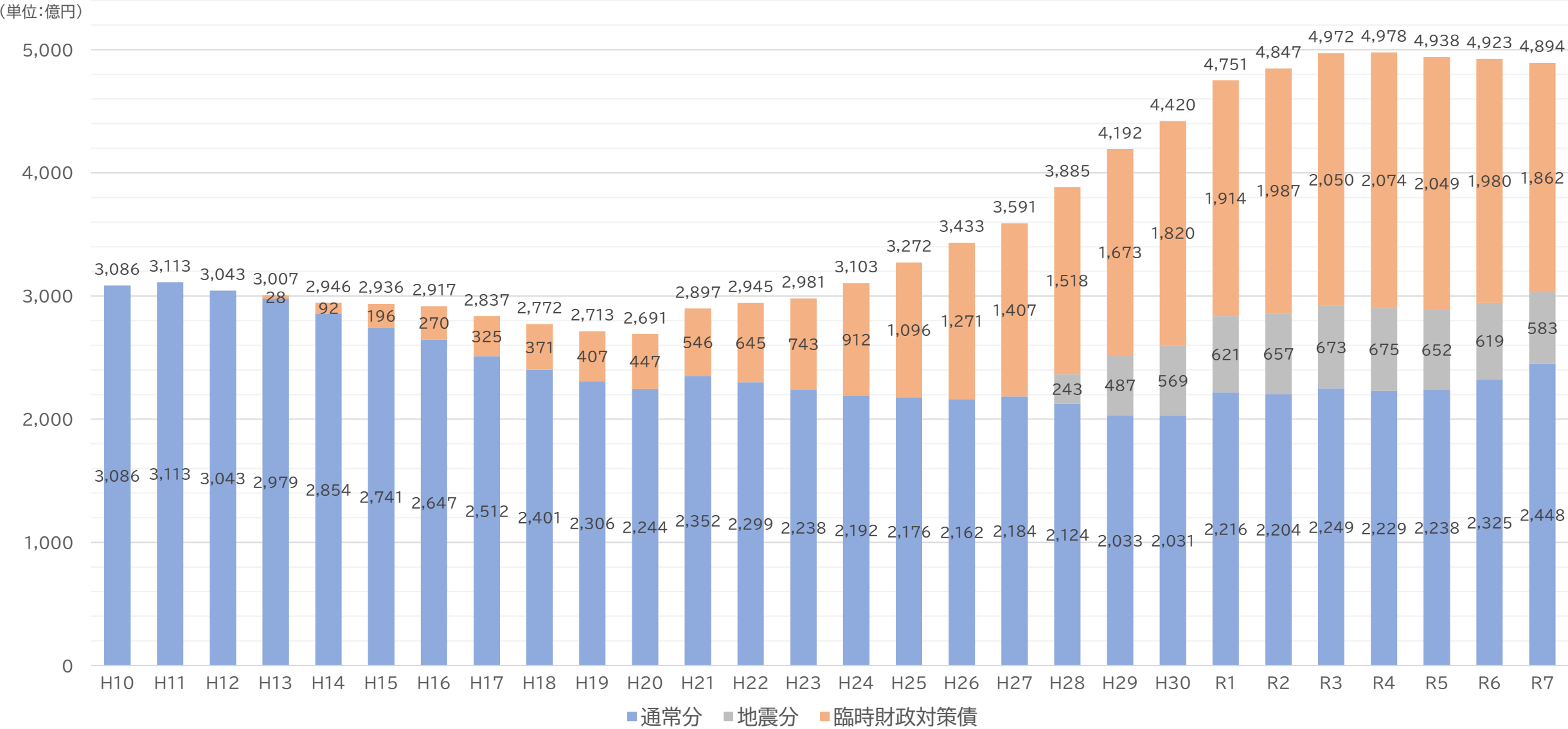


関連資料 市税決算額の推移



※H29からH30にかけて県教職員の権限移譲分により99億円の増
※R6年度は定額減税の影響により減少
※R6年度は2月補正後予算額、令和7年度は当初予算額

関連資料 市債残高の推移(一般会計ベース)



※R6年度は2月補正後予算額、令和7年度は当初予算額

令和7年度 当初予算(案)のポイント 各局の取組

当初予算のポイント(政策局)

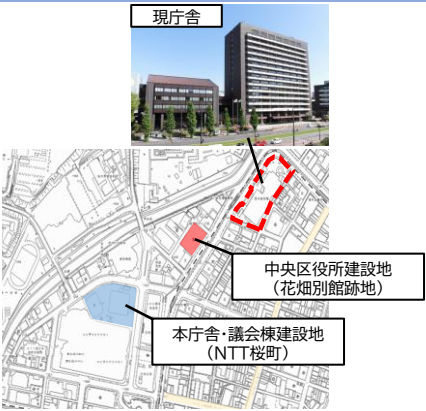
新庁舎整備について、市民の意見を踏まえながら検討を進めるとともに、現庁舎跡地の利活用や周辺まちづくりの推進に向けた検討を行います。
また、熊本地震の経験と教訓を生かした「真に災害に強いまち」の実現を目指すとともに、国際戦略に基づく戦略的な海外展開に向けた取組やデータに基づいた効率性・有効性・納得性の高い事業の立案等を推進します。

新庁舎整備事業及び庁舎周辺まちづくりの推進

新庁舎整備事業 294,000千円

基本構想(令和6年8月策定)に示した新庁舎の目指すべき姿を基に、建物構成や機能、構造、設備等の整備方針の検討を進めるとともに、建設用地(NTT桜町)購入に向けた調査、現庁舎の解体手法等の検討を行います。

また、市民の意見を踏まえながら新庁舎整備の検討を進めるため、積極的な情報発信、市民ワークショップや市民説明会等の実施に取り組みます。



庁舎周辺まちづくりの推進 55,000千円

新庁舎整備を契機としたまちづくりを進めるため、本市の現状や課題を分析します。そのうえで、現庁舎跡地にふさわしい利活用や周辺の建替え促進、回遊性向上にかかる取組の方向性を“(仮称)庁舎周辺まちづくりプラン”としてとりまとめます。

また、まちづくりの機運醸成のためのシンポジウム等を実施します。

防災・減災の推進

災害時における避難生活環境の向上 187,500千円

災害用給水タンク(貯水機能付給水管)の整備や防災井戸の設置に向けた調査等を行うとともに、視認性や多言語に配慮した避難場所標識の設置等を推進します。



貯水機能付給水管



防災井戸(イメージ)

災害情報の発信強化 483,000千円

防災行政無線の拡充整備を実施し、災害情報の発信強化を図ります。



防災行政無線

地域防災力の強化 13,100千円

地域の防災活動のリーダーとなる防災士を養成するとともに、防災士と地域とのつながりを構築し、地域防災力の強化を図ります。

避難行動の更なる促進 91,700千円

熊本市ハザードマップの刷新を行うほか、津波避難困難地域の設定及び避難行動計画の基本構想の策定を行います。

避難行動要支援者への支援 12,200千円

避難行動要支援者の個別避難計画作成を推進し、より実効性のある避難支援体制づくりを構築します。



防災士養成講座

当初予算のポイント(政策局)つづき

国際戦略の推進

戦略的な海外展開に向けた取組 24,500千円

台湾・高雄市やフランス・エクサンプロヴァンス市との交流、北米への訪問を通じて観光等をはじめとする本市のPRを行います。

アメリカ・ローム市と姉妹都市交流30周年による訪問団の受入れや、アメリカ・サンアントニオ市訪問団の来日にあわせた本市への受入れを通じ、今後の両市との更なる交流促進に繋がります。



サンアントニオ市の表敬訪問

地域の国際化に向けた取組 19,500千円

在住外国人を対象とする地域日本語教育について、「生活」に密着した体系的なカリキュラムの開発を行い、教育の質の向上を図ります。

また、台湾からの転入者向けに生活情報セミナーや日本文化体験ワークショップ、地域との交流イベントを開催し、地域へのスムーズな定着を図ります。



地域日本語教室

データに基づく事業立案等の推進・スマートシティの推進

データ利活用人材の育成及び企画立案の伴走支援 23,040千円

データを利活用するコア人材の育成や各局におけるデータを活用した企画立案の伴走支援を行います。

データ利活用環境の整備 23,100千円

データの利活用を促進するための基盤を構築し、既存の本市統計書等のデータを市民や職員が容易に利用できる環境整備を行います。



データに基づく事業立案等

スマートシティの推進 29,530千円

官民連携プラットフォームの運営や実証事業の補助、エリアデータ連携基盤の活用等により、スマートシティの推進を図ります。



スマートシティくまもと推進官民連携協議会

首都圏プロモーションの推進

首都圏プロモーションの推進 30,000千円

首都圏において、さらなる地元経済の活性化や関係人口の増加を目的に、年間を通じて首都圏プロモーションを展開します。

また、台湾関連のプロモーション活動の実施や、関係自治体・TOKYO BASE 096等とのネットワーク強化により、効果的な本市の魅力発信を行います。



農水産物のPR



ネットワーク交流

戦後80年を契機とした平和啓発の推進

平和啓発の推進 3,500千円

戦後80年の節目にあたり、二度と戦争の惨禍を繰り返さないという思いを後世につなげるため、本庁等におけるパネル展に加え、子どもたちにもわかりやすい啓発動画の作成等を行います。



戦後70年時の平和啓発イベントの様子

当初予算のポイント(総務局)

多様な人材を活用するとともに、職員の能力向上を図り、上質な行政サービスの実現を目指します。

デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

書かないワンストップ窓口の導入

185,660千円

利用者目線からの業務改革(BPR)を行ったうえで、ライフイベントに伴う手続が1カ所で受付可能となる書かないワンストップ窓口を導入します。

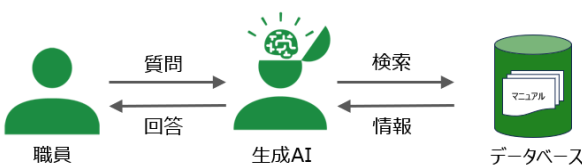
- 【書かないワンストップ窓口対象手続例】
- ・転入届、転出届、転居届、各種証明
 - ・国保、後期高齢者医療加入
 - ・児童手当、こども医療費助成認定 など



庁内業務における生成AIの利活用の推進

3,000千円

庁内の計画やマニュアルなどを参照して回答するRAG(検索拡張生成)の導入に向けた実証実験を行うなど、生成AIの更なる利活用を図ります。



デジタル人材の確保・育成

4,428千円

庁内でDXの中核を担う人材(DX推進リーダー)を育成するため、引き続き実践的な知識・スキルの習得に特化した研修を実施します。また、高度専門資格の取得を支援し、デジタルに関する高度な知識と技術を備えた専門性の高い職員の育成を図ります。



カスタマーハラスメント対策

電話設備の整備及び職員の接遇力向上

12,680千円

・電話の自動録音機能の導入や、接遇力の向上を目的とした職員研修の実施により、カスタマーハラスメントを未然に防ぐことで、効率的な業務を推進し、良質な市民サービスを確保します。



・課長級職員へ向け「接遇意識向上研修」を実施し、管理職の接遇意識向上によりカスタマーハラスメント防止につながる部下指導や職場環境づくりを強化します。

当初予算のポイント(総務局)つづき

定型業務の集約・効率化と障がい者の活躍機会創出

総合行政事務センターの運営 103,455千円

各課で担う市民等からの申請に関する事務処理を集約し、集中的に処理を行う「総合行政事務センター」を運営します。



障がい者の雇用促進と活躍機会の創出 94,200千円

障がいのある職員を雇用し、職員の特性に応じた就労支援や働きやすい職場環境整備を目的に、定型業務や軽易作業を行う集合型のワークステーションを新たに設置します。

外部人材の活用

民間企業人材の活用 5,600 千円

民間企業から即戦力となる人材を受け入れ、活用を図ります。

副業人材の活用 2,959千円

高い専門性や豊富な経験・スキル、人的ネットワークをもつ副業人材を登用し、個別施策への助言・提言・支援等に取り組めます。



市民に信頼される職員の育成

職員の能力向上のための研修推進 28,000千円

管理監督職のマネジメント力向上に向けた取組
・人材マネジメントの全庁的な推進に向けた動画・実践研修を実施します。
・課長級職員の総合的なマネジメント力を強化します。



熊本市職員成長・育成方針の“対話/つながり/ビジョンの共有”を踏まえた取組
・職員同士のタテヨコのつながりづくりや対話を通じた組織課題の共有と解決を図ります。

めざす職員像の達成に向けた取組
・めざす職員像と連動した人事評価制度の定着を研修を通じて推進します。
・必要な役割・能力に対応した選択研修の充実を図ります。



公文書の適切な管理と活用

公文書館の設置 62,140千円

令和9年度末の開館に向けて、公文書館の設計業務に取り組みます。
また、開館時に専門職員を配置するため、アーキビスト認証取得に取り組めます。



当初予算のポイント(財政局)

限られた財源と人員を有効に活用し、効果的かつ効率的な行財政運営に取り組みます。

公有財産の適正な管理及び公共施設等の最適化

公共施設マネジメントの推進 8,806千円

公共施設の総合的かつ計画的な管理・活用の推進に向け、ワークショップ等による情報共有・発信を図るとともに、公民連携手法による公共施設等の整備・運営に取り組みます。



公共施設マネジメント
ワークショップ

財産管理の適正化 19,159千円

公有財産の適正な管理・保全や未利用地の有効活用に取り組みます。



官民対話
(マーケットサウンディング)

適正かつ公平な課税と徴収の推進

宿泊税の導入 113,000千円

熊本市の持続的な発展に向けて観光振興の取組を継続、強化していくための財源として、宿泊税を導入します。(令和8年7月(予定))

- ・宿泊税の広報経費
- ・特別徴収義務者(宿泊事業者等)のレジシステム等整備費の助成経費



市税収納率の向上 139,800千円

初期末納対策強化の新たな取組として、納税の催告において反応率が高いSMSを導入し、迅速かつ低コストで納税者に直接アプローチすることにより更なる収納率の向上を目指します。



当初予算のポイント(文化市民局・区役所)

自主自立のまちづくりを進め、安全で安心して暮らせる地域づくり、人権尊重の共生社会の実現を目指すとともに、熊本城をはじめ多くの貴重な文化財の適切な保存・調査研究・整備・活用に取り組み、文化芸術をいかしたまちづくりを推進します。

自主自立のまちづくりの推進

各区のまちづくり推進経費 100,000千円

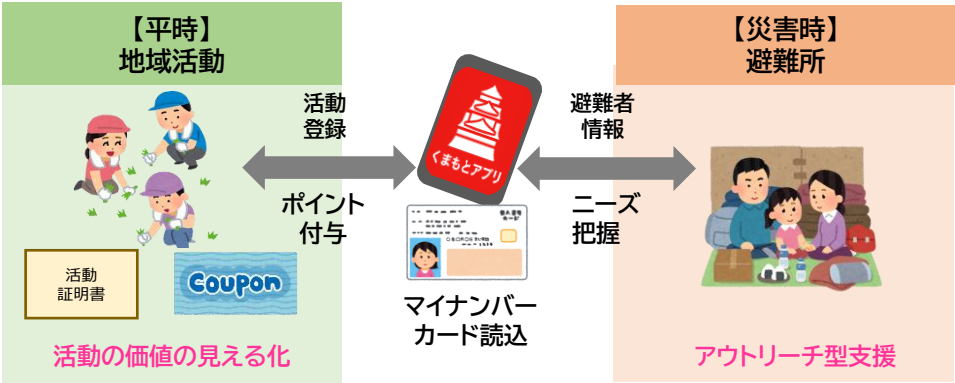
自主自立のまちづくりを推進するため、地域の特性をいかした事業を実施することで、地域力の維持・向上を目指します。

町内自治会活動等の支援 287,680千円

町内自治会活動の運営や防犯灯の維持管理に係る経費の一部を助成します。また、校区自治協議会の運営支援を行います。

くまもとポイント事業の普及・促進 24,000千円

くまもとアプリシステムの運用保守を行うとともに、事業の普及・促進を目指し、効果的な広報周知及び抽選会景品や電子クーポン等のインセンティブの充実を図ります。



くまもとポイント事業の概要

市民ニーズに的確に対応できる行政サービスの提供

マイナンバーカードの交付促進と円滑な窓口運営 985,100千円

新たに開設した熊本市マイナンバーカードセンターによる円滑なカードの交付・更新体制により、窓口手続きの更なる利便性向上を目指します。



市民満足度の高い区役所の推進 55,400千円

キャッシュレス端末付きセミセルフレジの運用による窓口業務の効率化、さらには「書かないワンストップ窓口」の実現に合わせ、窓口のレイアウトをはじめ、案内サインの見直しやネットワーク回線整備など、窓口空間の最適化に取り組みます。

当初予算のポイント(文化市民局・区役所)つづき

熊本城の着実な復旧と公開

熊本城の復旧事業

熊本地震により甚大な被害を受けた熊本城の復旧工事を進めるとともに、復旧過程の段階的公開と活用を図ることで、文化財の適切な保存ならびに観光資源としての早期再生を目指します。

2,997,542千円



特別公開の円滑な運営

ミスト設備を活用した雲海の演出を行うなど、熊本城特別公開へのさらなる入園者数増加を図るとともに、入園者が快適で安全・安心に利用できる施設運営に取り組めます。

592,800千円



文化を活かしたまちづくり

記念館の活用・魅力発信

NHK連続テレビ小説「ばけぼけ」の放送を契機とした小泉八雲熊本旧居のPRなど記念館をより多くの人に親しんでもらえる取組を実施することで、知名度の向上、来館者の増加を図り、郷土史を学ぶきっかけを後押しするとともに、国内外からの誘客を図ります。

28,700千円



小泉八雲熊本旧居

男女共同参画・人権尊重の社会づくりの推進

女性の活躍推進に向けたキャリアアップ支援

企業ニーズが高いWebマーケティングに特化したデジタルスキル習得から地域企業等とのマッチングまでの伴走型支援を行うことで、女性のキャリアアップと所得向上を目指します。

5,000千円

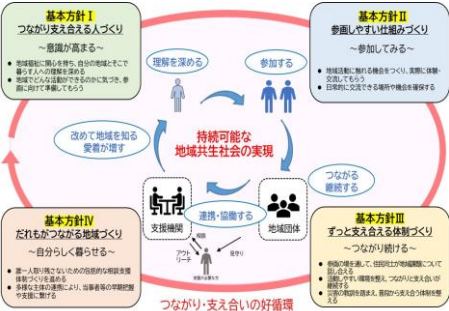


当初予算のポイント(健康福祉局)

だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち、健康で安全・安心に暮らすことのできるまちづくりに取り組みます。

共生社会・包摂社会の実現

地域福祉の推進 221,154千円



第5次地域福祉計画・地域福祉活動計画(素案) 基本理念・基本方針



体験型イベント
バリアフルレストラン

民生委員・児童委員の負担軽減と地域福祉活動の担い手確保を図るため、民生委員協力員を設置します。

第5次地域福祉活動計画・地域福祉活動計画のもと、持続可能な地域共生社会の実現に取り組みます。

心のバリアフリーの推進 3,000千円

心のバリアフリーの普及啓発のため、障がいの社会モデル※を理解するための体験型イベントを継続するとともに、小中学校における心のバリアフリー学習プログラムの構築に取り組みます。

※障がいのある人への社会的障壁を取り除くのは社会の責務であるとする考え方

生活困窮者等への支援

生活困窮者等に対する支援体制の充実 188,600千円

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却できるよう、自立に向けた相談支援等の体制を構築します。

就労支援相談員とケースワーカーが連携して、生活保護受給者の実情に応じたきめ細かな就労支援を行います。また、生活保護受給世帯の中学生等に対する学習支援や模擬試験料の助成を行い、進学を支援します。



障がいの有無にかかわらず活躍できる環境づくり 202,340千円

短時間しか働くことができない障がい者に対し、企業の短時間雇用等の働き方の選択肢を増やし、障がい者が活躍できる環境づくりに取り組みます。また、企業に対して施設の役務や商品の情報を提供し、障がい者就労支援施設の生産活動の収入増加を図ります。

初級手話講座と検定・養成事業の中間的な位置付けとなる中級手話講座を各区の公民館で実施し、手話通訳従事者の確保と手話の普及促進を図ります。

障害福祉サービス待期期間の更なる短縮のため、プロジェクトチームによる業務改善・見直しを継続するとともに、人員体制の強化を図ります。

自殺対策の強化 41,900千円

SNSによる相談に加えて、多職種の専門家で構成する「こどもの自殺危機対応チーム」を設置し、こどもが自殺に追い込まれないための支援体制を強化します。



手話講座



SNSによる相談

社会保障制度の適切な運営

国民健康保険会計の健全化 698,273千円

医療費適正化に向けた取組や収納率向上対策等を行い、単年度収支の均衡に努めます。

介護認定業務の改善 42,400千円

要介護認定情報提供のオンライン化など事務効率化を図り、迅速な介護サービスの提供に取り組みます。

当初予算のポイント(健康福祉局)つづき

人生100年時代を生きるための健康づくり

がん検診の推進 614,400千円

がんのうち罹患患者数1位・死亡者数2位である大腸がんによる死亡者数を減らすため、全大腸内視鏡検査を全国で初めて初回無償で実施します。あわせて、がん検診の個別勧奨通知等によりがん検診受診率の向上を図り、がんの早期発見に取り組みます。

健康ポイント事業の充実 71,900千円

熊本健康アプリ登録者数10万人達成を見据え、インセンティブのさらなる増加や、企画・イベント等の充実を図り、さらに楽しく健康行動の習慣化に取り組める健康ポイント事業を実施します。

望まない受動喫煙の防止 39,380千円

受動喫煙防止対策専用コールセンターの運用に加え、望まない受動喫煙による健康被害を防止するため、中心市街地における分煙施設の設置に対する助成を行い、快適に過ごせる環境を整備します。

歯・口腔の健康づくりの推進 65,594千円

妊婦歯科健診、フッ化物塗布・洗口、節目年齢歯科健診などを実施し、妊娠期及び胎児期から高齢期までのライフステージの特性に応じた歯と口腔の健康づくりを推進します。

持続可能な食を支える食育の推進 600千円

小中学生を対象とした郷土料理教室を通じて、次世代を担うこども達へ熊本の食文化を伝承するなど、持続可能な食を支える食育を推進します。

効果的な介護予防事業の実施 102,700千円

プロスポーツチームやリハビリテーション専門職等と連携し、地域における「通いの場」等で行う介護予防活動を効果的かつ継続的に実践できるよう支援します。

全大腸内視鏡検査

- ・55～59歳の市民を対象
- ・初回無償で実施(1,000人限定)



保健衛生体制の強化と医療提供体制の確保

予防接種の適切な実施 2,834,000千円

带状疱疹ワクチンの定期予防接種化のほか、小児等に対する定期予防接種を適切に実施します。

初期救急医療体制の整備 177,426千円

休日、夜間及び年末年始期間における救急患者の診療体制を確保します。

がん患者のQOL向上 6,260千円

がん治療に伴う外見の変化(脱毛、乳房の切除部分等)に対して医療用ウィッグ等の購入助成を行い、就労や社会参加促進、安心で豊かな日常生活を通じてがんとの共生を実現します。さらに、新たに若年がん患者に対して、在宅療養に係る費用の助成を行い、住み慣れた環境での療養生活を支援します。がん患者への支援を拡充し、がん患者のQOLの向上を図ります。

地域猫活動の推進 15,800千円

動物愛護センターに加えて、新たに動物病院でも野良猫の不妊去勢手術を行うことでTNR活動※の実施体制を強化するとともに、住みよい地域づくりにつながる地域猫活動を推進します。

※野良猫の増加を抑制するため、捕獲して不妊去勢手術を行い、元の場所に戻す活動

安定的な火葬サービスの提供 413,657千円

新植木火葬場の令和7年10月供用開始に向けて、引き続き建替工事を進めるとともに、さらなる利便性向上のために植木火葬場南側市道の改良工事に着手します。



当初予算のポイント(こども局)

こどもが輝き、若者が希望を抱くまちの実現に向け取り組みます。

こどものいのちと権利を守る取組

こどもの権利の教育・啓発 24,300千円
こどもの権利サポートセンターでは、学校内外を問わずこどもの権利に係る相談に対応するとともに広報・啓発等に取り組みます。

こどもの安全安心のための環境整備 26,300千円
保育所等における性被害防止対策に係る設備等(パーテーションやカメラ等)の購入費を補助し、保育所等における性被害防止対策を支援します。

いのちを大切にせる教育・相談支援 2,900千円
妊娠内密相談センターでは、予期せぬ妊娠に悩む方に対する伴走型支援を行うとともに、性に関する正しい知識の普及啓発等に取り組みます。



社会全体で子育て当事者を支える取組

母子の健康保持・増進 748,198千円
妊娠中の健診費用を助成することで母体及び胎児の健康管理を図るとともに、乳幼児の健康管理を行うことで疾病等の早期発見及び健全な発育を支援します。

経済的負担の軽減 2,865,391千円
高校3年生までの医療費を助成することにより、こどもの健康の保持及び、養育者の経済的支援を図ります。

保育サービスの充実 52,900千円
月一定時間まで就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる「こども誰でも通園制度」について、対象施設を拡充します。



安心・安全な居場所づくり

こども・若者の居場所づくり 12,719千円
こども食堂の新規開設を促すための啓発活動を行うとともに、こども食堂の運営団体等に活動資金を一部助成することで、地域における子育て支援サービスの充実を図ります。

安心できる居場所の充実 26,800千円
家庭や学校に居場所のないこどもが安心して自由に過ごすことができる「こどもの居場所」の受入体制を拡充し(1箇所→2箇所)、送迎やペアレントトレーニングなどの包括的な支援の充実を図ります。



〔熊本市こども食堂PR動画より〕

困難な状況にあるこどもや家庭の支援

障がい児支援・医療的ケア児支援の充実 473,400千円
障がい児保育を行う保育士等の雇用経費を助成することで、受入体制の充実を図るとともに、人工呼吸器の装着等の医療的ケアが必要な児童の受入れが可能となるよう保育所等の体制を整備し、地域生活支援の向上を図ります。



障がい又は障がいの疑いのあるこどもへの支援 36,670千円
こども発達支援センターでは、障がい又は障がいの疑いのあるこどもが、家庭や保育所、学校等での生活が円滑に送れるよう、医師や心理相談員、言語聴覚士等の専門のスタッフが個々の状況に応じた支援を行います。

当初予算のポイント(こども局)つづき

困難な状況にあるこどもや家庭の支援(つづき)

ひとり親家庭への就業・経済的支援 345,742千円

ひとり親家庭等の医療費について保険診療自己負担額の3分の2を助成し、経済的負担を軽減します。また、住居借り上げ資金や、資格取得のための 入学・就職準備金の貸し付けを行い、生活基盤の安定を支援します。

一時的なこどもの養育支援の充実 34,400千円

ショートステイ事業について、児童養護施設等に専用室を3室新設し、受入体制を拡充します。

児童養護施設等職員の人材確保 58,520千円

児童養護施設等における従事者確保のための経費を助成し、業務負担の軽減や離職防止、人材確保を図ります。

里親支援の推進 73,778千円

里親登録・委託数の増加に向け、里親支援センターの活用により制度の普及・啓発及び里親支援体制の充実を図るとともに、法定研修等の受講支援を拡充します。



若者・ヤングケアラーへの支援 24,500千円

若者・ヤングケアラー支援センターにおいて、訪問相談や同行支援等を実施し、若者やヤングケアラーの課題解決を支援します。
あわせて、若者等が安心して過ごすことができる居場所を提供します。

若者等の希望の実現、活躍の場の提供

結婚を希望する方への支援 33,000千円

結婚支援を包括的にコーディネートする結婚支援センターを運営し、マッチングシステムを活用した出会いの機会を提供します。
また、出会いの場を提供するイベント等の事業費の一部を助成することで社会全体で結婚を応援する機運醸成を図ります。



若者等の希望の実現、活躍の場の提供(つづき)

仕事と子育ての両立支援 3,900千円

地域の実情に応じた本市独自の基準による「子育て支援優良企業」の認定等による子育てしやすい雇用環境の整備を促進します。
また、共育での推進に向けて、男性を対象とした家事・育児等に関する情報提供を実施します。



保育士の人材確保 5,324千円

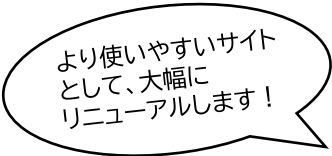
保育士再就職支援コーディネーターを配置し、潜在保育士等の就職を支援します。また、中高校生等に対する保育体験講座等に要する費用の一部を補助することで、保育士の人材確保に向けた支援を行います。



事業の推進(周知・広報)

こども施策の情報発信 3,583千円

結婚から妊娠、出産、子育て等の支援制度について、結婚・子育て応援サイトや子育て応援アプリを活用し、分かりやすく効率的に情報を発信します。



熊本市では結婚・妊娠・出産・子育てまで、あなたのライフステージを応援します!

熊本市 結婚・子育て応援サイト

当初予算のポイント(環境局)

恵まれた環境をまもり、はぐくみ、未来へつなぐ、持続可能な環境都市を目指します。

カーボンニュートラルの実現

くまもと脱炭素循環共生圏の推進 43, 200千円

令和7年度末で期間満了となる「熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画」を改定し、引き続き、都市圏域における地球温暖化対策を推進します。
また、都市圏共同で、住民や事業者の行動変容を促進する広報・啓発活動に取り組みます。

省エネルギー等の推進 85, 700千円

地球温暖化対策の推進と災害に強い自立・分散型のエネルギーシステムの構築に向け、市民や事業者の電気自動車、太陽光発電設備、省エネ機器等の導入に対する補助を行います。

熊本連携中枢都市圏の市町村有施設における電力の脱炭素化 97, 070千円

熊本連携中枢都市圏の市町村有施設における率先した電力の脱炭素化に向け、環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」を活用し、太陽光発電設備の整備や蓄電池の導入、施設のZEB化、電気自動車等の導入等に取り組みます。



市立学校に導入した太陽光発電設備



公用車に導入した電気自動車

生物多様性の保全と自然との共生

江津湖の自然環境保全 16, 300千円

「水の都くまもと」のシンボルである江津湖の生態系や湧水量等を調査し、今後のあるべき姿や利活用のあり方を検討します。



江津湖



江津湖に生息する希少種(セボシタビラ)

外来生物の駆除 19, 205千円

江津湖地域の生態系保全のため、指定外来魚の駆除等を行うとともに、アライグマによる被害を防止するため、特定外来生物対策に取り組みます。



電気ショッカー船による外来魚の駆除



アライグマ

生物多様性の保全 1, 000千円

自然観察会等を開催し、生物多様性の理解を深めるとともに、関係団体と連携した生物多様性の情報発信や普及啓発に取り組みます。



自然観察会



当初予算のポイント(環境局)つづき

持続可能な循環型都市の実現

ごみ収集体制の再編 8,000千円

ごみ収集体制を市民に分かりやすいように見直し、持続可能なごみ収集体制の構築に取り組みます。

資源物持ち去りへの対応 17,039千円

持ち去り防止指導員によるパトロールや追跡調査、買取業者等への立ち入り調査等を行い、資源物の持ち去りを未然に防ぎます。

東部環境工場の機能維持 1,638,200千円

燃やすごみの処理を安定的に稼働させるため、クレーンや排ガス処理設備等の主要設備の計画的な整備を実施します。



3R(スリーアール)の推進 18,600千円

ごみの減量やリサイクルの推進、ごみ出しマナーに関する啓発を行うことで、環境問題への関心を高め、循環型社会の構築を推進します。



家庭ごみの再資源化 1,639,400千円

空きびんや空き缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装などの資源物を分別収集し、リサイクルを推進します。

食品ロス対策の推進 4,500千円

フードドライブ等の食品ロス削減の取組や市民・事業者への意識啓発の広報等を行い、食品ロス対策を推進します。



地下水保全対策の推進

水田湛水による地下水かん養 90,900千円

白川中流域(菊陽町、大津町等)における水田を活用した湛水事業による地下水かん養を推進します。



水源かん養林の整備 63,100千円

白川上流域(西原村、大津町等)において、森林の持つ水源かん養機能(水資源貯留、水量調節、水質浄化、洪水緩和等)を高度に発揮させるため、森林の拡大整備や保育管理を行います。



水質保全対策の強化 12,200千円

地下水及び公共用水域の水質監視を拡充・強化するとともに、県市連携の取組として、水質の測定データの公表回数を増やします。



河川の水質調査

有機フッ素化合物(PFAS)への対策 1,490千円

外部有識者による専門家会議を開催し、有機フッ素化合物(PFAS)の発生原因究明や対策に取り組みます。

広域連携や協働による地下水の保全 11,430千円

広域的な地下水保全対策を実施する「(公財)くまもと地下水財団」と連携し、水質・水量、啓発等の地下水保全対策を推進します。

当初予算のポイント(経済観光局)

半導体関連企業の集積やインバウンドの回復等の好機を生かし、地域経済の持続的な発展や更なる賑わいの創出に向けた取組を推進していきます。

半導体関連産業の集積を見据えた戦略的な企業誘致

半導体関連企業の誘致と産業用地の整備 28,700千円

製造業等の企業情報や本市への進出意向等の調査を行います。
本市への投資意向がある企業等向けセミナーの開催、WEBを活用したマーケティング、国内外の展示会における誘致活動など、多様な施策を展開します。
本市と協定を締結した民間事業者と連携し、産業用地の整備を着実に進めます。



台湾での本市企業誘致セミナー(R6年9月)

成長段階に応じたスタートアップ等※1への支援

スタートアップエコシステム構築に向けた取組 73,300千円

スタートアップビザコンシェルジュを配置し、外国人起業家の呼び込みを行うとともに、海外展開や海外企業との事業提携を促進します。
スタートアップワールドカップ2025九州予選を開催します。
熊本のスタートアップと全国の事業会社とのマッチングや事業提携の創出及び伴走支援を実施します。
首都圏や九州圏内のベンチャーキャピタル※2や金融機関、事業会社等に対するスタートアップ等のPRの機会を創出します。
大学生や専門学生等を対象に、起業に関する基調講演や地場の起業家と交流するイベントを開催します。

- ※1 スタートアップ等:新しい技術やサービス、ビジネスモデルを軸に、成長が期待できる起業家や新事業に取り組む中小企業等
- ※2 ベンチャーキャピタル:スタートアップ等に出資を行う投資会社



スタートアップワールドカップ2024開催時の様子



スタートアップ等への伴走支援

中小企業等の持続可能な成長支援と人材の確保

DX推進・事業承継促進に向けた取組 31,400千円

中小企業等のDX推進に向け、専門家による伴走支援や取組成果報告会を開催するとともに、DX環境整備に要する経費を補助します。
事業承継への関心を高めるため、現経営者・後継者それぞれに向けた啓発セミナーやトークセッションを開催します。
後継候補者を対象に、既存の経営資源活用による新規事業開発に向けた伴走支援プログラムを提供し、アトツギ甲子園※3などのピッチイベントへの出場を支援します。



アトツギ甲子園(決勝大会)

- ※3 39歳以下の後継者が、既存の経営資源を生かした新規事業のアイデアを競い合う中小企業庁主催のピッチイベント

県内外から人材を確保するための取組 55,900千円

地場企業に対し、インターンシップの実施手法等を習得するための説明会を実施します。
企業と学生とのインターンシップマッチング会を実施します。
公式移住情報サイト「熊本はどう?」をリニューアルします。
本市へのUIJターンを希望する方の相談等に対応するため、UIJターンサポートデスクを運営するとともに、東京圏にて本市独自の移住・就職イベントを実施します。



企業へのインターンシップ

経営基盤強化のための資金調達支援 11,000千円

賃上げや生産性向上に取り組む事業者の資金調達にかかる信用保証料を補助します。

当初予算のポイント(経済観光局)つづき

観光資源の魅力創出・MICE誘致と賑わいの創出

観光資源の魅力創出に向けた取組 53,500千円

「水資源のブランド化」に向けた取組を推進するため、「サウナ」など熊本の地下水と親和性の高いイベントやツアー造成を通じ来訪につながる魅力を創出します。

小泉八雲や夏目漱石など熊本にゆかりのある人物や歴史文化のトピックスに連動し、関連観光施設やイベント情報等をストーリーで結び付け、各種媒体を通じた情報発信を行います。

熊本城など、本市ならではの施設や地域等における灯りのイベントを開催するとともに、民間団体等が主催する夜間イベントと連携し夜の魅力を創出することで、滞在時間の延長や宿泊に繋げ、観光消費額の拡大を図ります。



小泉八雲旧居



熊本城灯りのイベント
夜火夜火(2024)

商店街の魅力向上と来街者拡大への取組 20,000千円

商店街と産官学連携し集客や回遊性促進に繋がる事業に取り組みます。
専門家派遣による事業計画の策定や課題解決等に対する支援を実施します。
商店街エリアの空き店舗利活用に対する支援を実施します。

MICE誘致戦略事業 97,600千円

熊本市MICE誘致戦略に基づき、熊本国際観光コンベンション協会などの関係団体と連携したMICE誘致活動や国際会議等の誘致に向けたプロモーションを実施します。
コンベンションの誘致促進を図るため、コンベンション開催助成金の交付などを行います。

ライフステージに応じた生涯スポーツの推進

県民体育祭の開催など生涯スポーツの推進に向けた取組 1,289,084千円

本年9月に開催される第80回熊本県民体育祭熊本市大会に向けた各種準備及び大会運営を行います。

校区スポーツ協会や競技団体等への支援を行います。

老朽化したスポーツ施設の改修工事を行います。



繋ぎ 挑み 成せ 共に

動植物園サバンナエリアの整備等 1,015,000千円

令和11年(2029年)の動植物園開園100周年に向け、草食獣エリアに広大なサバンナと低木林を再現し、動物本来の生息環境に近づけた展示を行うとともに、江津湖が望める景観の創出に取り組みます。

子どもたちに楽しくわかりやすい学習の場を提供するため、自然環境教育の拠点として、「いきもの学習センター」の展示改修に取り組みます。



サバンナエリアのイメージパース

イベント開催による賑わいの創出 318,500千円

火の国まつり・お城まつり・江津湖花火大会・熊本城マラソンの開催等により、本市のにぎわいを創出することで、地域経済の活性化及び交流人口の拡大を図ります。



第47回火の国まつり



江津湖花火大会2024



熊本城マラソン2024

熊本競輪場グランドオープンに向けた取組と財政支援

サービスセンター等の整備 21,000千円

防災備蓄倉庫やキッズルーム等、グランドオープンに向けた整備を行います。

市民生活向上への貢献(一般会計繰出金) 200,000千円

競輪事業の収益の一部を一般会計に繰り入れることで、都市整備や社会保障等の財源として活用します。

当初予算のポイント(農水局)

未来に向けて挑戦する農漁業者を応援するとともに、安全・安心で良質な農水産物を国内外にアピールすることで、農水産業の持続的発展を目指します。

競争力の高い農水産業の振興

地域の強みを活かし、生産性向上と持続性を両立する農業の推進 385,294千円

産地としての持続的な発展を目指して、スマート農業などの導入による、生産性の向上、生産・集出荷の安定化に向けた体制の強化など、良質な農産物の生産を振興します。また、環境に配慮した農業と安全・安心な農産物づくりを推進します。



獲れる・稼げる水産業の推進 20,511千円

ノリ養殖業の競争力強化を推進するとともに、生産量が低迷している水産資源の増殖・持続的な維持に向け、有用魚介類の種苗放流や二枚貝類の保護育成に取り組めます。



鳥獣被害対策の強化 21,160千円

地域ぐるみの一体的な対策として、鳥獣を集落に寄せつけない環境整備、農地への侵入防止柵の設置等を推進するとともに持続可能な有害鳥獣捕獲体制に向け、熊本市有害鳥獣駆除隊等への支援を強化するなど総合的な鳥獣被害対策に取り組めます。



しなやかで強い経営基盤の確立

安心して続けられる経営の確立 329,237千円

地域関係団体等との連携のもと、就農希望者の受入れ体制の整備や誘致活動、就農スタートアップ支援等に取り組み、新規就農者をはじめ、認定農業者など地域農業の担い手を育成・確保するとともに、農地の集積・集約化や労働力の確保等による経営体の体質強化を推進します。



災害や環境変化にも対応した生産基盤づくり 3,174,922千円

国土強靱化の視点や環境変化への対応も踏まえ、持続可能な農水産業の確立に向けた生産基盤の整備・保全を推進します。特に、農地等の湛水被害の軽減や、漁港施設の整備及び航路・泊地の浚渫など、施設の更新や維持補修を計画的に進めます。



農と食の魅力創造

くまもと農水産物のブランド化・農水産業への理解の醸成 158,779千円

農漁業者と異業種が連携したプロモーション活動の展開や、半導体関連企業の熊本進出を契機とした海外への販路開拓・拡大と食の交流を推進します。市民の農水産業への理解醸成に向け、お互いの顔が見える場をつくるとともに、食の視点を生かした相互理解の深化による地産地消を推進します。



当初予算のポイント(都市建設局)

安全で良好な都市基盤が整備されたまちの実現に取り組みます。

多核連携都市の実現

適正な土地利用の推進 57,600千円

人口減少、超高齢社会、都市のスポンジ化、災害リスク、産業用地の確保などの課題を踏まえ、本市の都市計画の方向性を示す「都市マスタープラン」及び各種都市計画の見直しを行います。

昼も夜も歩いて楽しめる魅力的な都市空間の創出 461,520千円

昼も夜も歩いて楽しめる魅力的な都市空間の創出に向けて、花畑広場等の中心市街地の都市基盤を最大限活用するとともに、熊本駅新幹線口駅前広場の再整備等に取り組みます。



▲花畑周辺等の利活用状況

良好な都市景観の形成 40,480千円

良好な都市空間の形成に向けて、歴史的建造物等の地域資源を活かしたまちづくりの支援や、屋外広告物の適正化と許可申請手続きのオンライン化に取り組みます。

安全・安心なまちづくり 33,300千円

令和7年4月1日より盛土規制法の運用を開始するとともに、盛土等に伴う災害の防止に向け監視・調査を行います。



盛土等を伴う造成



土砂の仮置き

許可・届出が必要となる盛土等の工事

豊かな住生活の実現

良好な居住環境の形成 202,121千円

住宅の耐震化・バリアフリー化及びマンションの適正管理に向けた支援を行います。また、市営住宅再編によるまちづくりの推進を目指し住宅ニーズの予測調査を行います。

総合的な空家等対策の推進 89,600千円

安全・安心な魅力ある住環境の実現に向け、空家等対策計画の基本方針に基づく予防、利活用、適正管理、連携体制の強化に関する施策を実施します。中古住宅購入費の補助により、空き家の発生抑制及び定住人口の増加を図ります。

良好な市営住宅の供給 5,000,324千円

市営住宅の適正管理を行うとともに、市営住宅長寿命化計画に基づく団地の維持補修、集約建替を進めます。

公共交通と自動車交通のベストミックスの構築

総合的かつ計画的な地域公共交通政策の推進 19,000千円

熊本地域公共交通計画の策定や、公共交通のあり方について検討を行います。

基幹公共交通軸の機能強化に向けた取組 88,900千円

新水前寺駅にバスベイを設置するための詳細設計や上熊本駅をはじめとする熊本電鉄全体の機能強化の検討等、交通結節機能強化対策に取り組むとともに、南熊本快速バス実証実験や自転車駐車場の整備を行います。



▲自動運転バス

地域の特性に応じた移動手段の確保に向けた取組 1,977,900千円

公共交通の維持確保に向け、自動運転バスの実証実験や、AIデマンドタクシーの運行に取り組むほか、路線バスや市電等への運行支援を行います。



▲AIデマンドタクシー

自家用車から公共交通等への転換に向けた利用促進 76,300千円

公共交通等への転換に向けた交通事業者が取り組む利用促進策への助成、まちなかフリーパスの実証実験、バス停ベンチの設置、自転車ヘルメット着用の推進等に取り組めます。



▲高平団地集約建替イメージ

当初予算のポイント(都市建設局)つづき

安全で利便性の高い都市基盤の充実

熊本西環状道路(池上・砂原工区)の整備推進 5,704,003千円
熊本都市圏内外の人流・物流、災害時活動を支援するため、「池上工区」及び「池上インター線」の令和7年度開通、「砂原工区」の早期開通に向けて整備を進めます。

半導体関連企業集積に伴う交通対策 367,300千円
半導体関連産業の集積に伴う交通状況変化の大きい市東部・北東部エリアにて、交差点改良やバイパス整備等の交通対策を進めます。

「10分・20分構想」の調査検討 121,000千円
市中心部から高速道路ICや熊本空港までのアクセスを強化する「10分・20分構想」の実現に向けて、住民参加型の道路計画検討等に取り組みます。

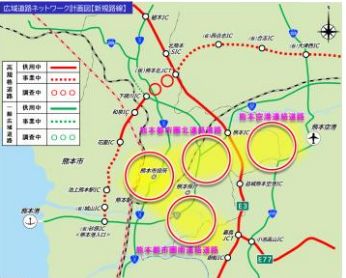
都市計画道路等の計画的な整備 3,542,268千円
(都)坪井龍田陳内線や国道501号等、都市の骨格を形成する都市計画道路等の幹線道路の整備を進めます。

インフラ老朽化対策などの推進 1,775,676千円
災害に強い道路網を形成するため、橋梁など道路施設の老朽化対策を進めます。

広域・準用河川等の改修 1,182,450 千円
洪水による被害の防止・軽減を図るため、河道の改修等を行います。



▲池上インター線



▲10分・20分構想



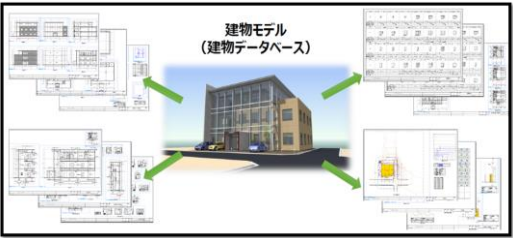
▲河川改修の事例(旧天明新川)



▲橋梁メンテナンス

市有建築物の安全対策の推進

技術人材育成・建設DXの推進 2,300千円
デジタル技術の導入による生産性向上や新技術研究の取り組みを推進し、公共建築物等に係るコスト削減や技術人材育成、本市建設業を取り巻く社会課題への対応を進めます。



▲3D建物データベース

持続可能な「森の都くまもと」の実現

“森の都再生プラン”に基づく事業展開 61,000千円
くまもとの緑を“増やす”(森の都“2万本”植樹大作戦等)、“守る”(根系保護の厳格化等)、担い手を“育てる”(講習会の開催等)取組を進めます。



▲緑化活動・人材育成

安全で安心な公園環境の整備 272,600千円
安全で快適な公園空間を確保するため、老朽化した公園遊具等の更新を行います。また、公園資源のストック効果を高めるため、ニーズに即した改編を行い、公園の活性化につなげます。



▲水草刈取り船

江津湖の水草駆除作業強化 100,000千円

外来植物(水草)が年々増加し、在来の希少種などの生態系へ影響をきたしていること等から、新たに水草刈取り船を購入し、外来植物の除去能力を強化します。

くまもと花博の開催 73,400千円

豊かな自然の魅力を次世代に繋いでいくことを目的とし、3つのエリアから熊本の自然の魅力を発信し、「花と緑のある暮らし」につなげます。



▲街なかエリア



▲水辺エリア



▲まち山エリア

当初予算のポイント(消防局)

あらゆる災害から市民の生命財産を保護するために、火災予防対策の推進や消防体制の充実強化、地域の災害対応力の強化を図ります。

消防体制の充実強化

消防車両の整備

次の消防車両を更新し、消防力を強化します。

車種	配備先
化学車	中央消防署
ポンプ車	北消防署
救急車	東消防署 楠・託麻出張所、池田庁舎
搬送車	西消防署
軽消防車	東消防署、小山出張所
連絡車	中央消防署
広報査察車	西消防署

332,867千円

▼ 更新車両イメージ

【化学車】



【搬送車】



大規模災害時における応援体制の構築

1,356千円

大規模災害や特殊災害に対応するため、市町村又は都道府県の区域を越えて、消防力の広域的な応援体制の構築を図ります。



小島出張所の移転

・造成工事、庁舎建設工事

277,800千円

職員の各種研修の充実

49,502千円

救急救命士の資格取得や、消防・救急活動に必要な免許・資格等を取得します。

全国救急隊員シンポジウムの開催

10,800千円

熊本市で全国救急隊員シンポジウムを開催することにより、全国の救急業務の発展に寄与するとともに、熊本地震から10年という節目の年に、熊本地震からの復興までの道のりを全国にアピールします。

▼ 過去のシンポジウムの様子



消防行政DXの推進

14,353千円

消防行政におけるデジタル化の推進により、更なる市民サービスの向上、業務の効率化、消防力の強化を目指します。

・救急安心センター事業(#7119)

【令和6年度】
受付時間 19時～翌8時
回線数 1回線



【令和7年度】
受付時間 24時間対応
回線数 2回線



・救急搬送情報システム(Join)の導入
システム導入により、各医療機関に患者情報を事前共有することで、救急隊の病院選定に要する時間短縮や搬送先医療機関の最適な治療の準備を目指します。

・AI搭載救急訓練人形の導入
・電子申請受付業務の拡充
・Live119の継続
・救急資器材管理供給システム(SPD)の継続

消防団の体制強化と市民の救護能力の向上

新規消防分団の設置

102,162千円

消防分団未設置校区の「長嶺校区」と「龍田西校区」に消防分団を設置し、地域防災力の向上に取り組みます。

・機械倉庫建設経費(各分団1戸)
・小型動力ポンプ付積載車(各分団1台)



消防団の円滑な運営と充実強化

地域防災力の中核として重要な役割を担っている消防団の円滑な運営と充実強化を図ります。

481,540千円

▼ 消防団の活躍



消防団活動拠点施設と災害対応力の充実強化

99,576千円

地元消防団の活動拠点である機械倉庫や消防団の車両、資機材等を有効に機能させるため計画的に整備を行います。

当初予算のポイント(教育委員会事務局)

予測困難な時代において、こども一人ひとりが豊かな人生とよりよい社会を創造し、それぞれの夢や希望の実現に向けて自ら考え主体的に行動できるよう、多様な教育機能の整備・充実を図ります。

主体的に考え行動する力を育む教育の推進

教育の情報化 1,449,400千円

小中学校の児童生徒1人に1台整備しているタブレット端末のさらなる活用の推進やICTを活用した児童生徒一人ひとりの学習状況に応じた支援など、主体的に考え行動する力を育む教育を実現するために必要なICT環境整備を行います。

次世代の校務DXの推進 906,000千円

教職員が利用する地域教育情報ネットワーク(e-net)の運用について、次期構築に向けてICT分野の専門的な知見からの検討を行い、次世代の校務DXの実現を目指します。

教員研修関連システムの導入 2,550千円

教員の研修受講や受講履歴記録の作成を一元的に行うことができるシステムを導入し、教員の研修履歴の効率的な記録及び管理を行うことで、教員の資質向上に取り組めます。

幼稚園における通級指導の充実 2,200千円

ことばや行動及び情緒面等の課題に応じた指導や支援を行う「ことばの教室」「あゆみの教室」を設置し、多様化する教育ニーズへの対応に取り組めます。
令和7年度は「ことばの教室」を1教室新たに開設し、支援体制の充実を図ります。

こども一人ひとりを尊重した教育の推進

学級支援員の派遣 481,300千円

学級支援員を配置し、学校現場で特別な教育的配慮を必要とする児童生徒への支援を行います。
令和7年度は看護師資格を持つ学級支援員を5名増員し、医療的ケアが必要な幼児や児童生徒への支援体制の充実を図ります。

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置 183,200千円

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを雇用し、専門的なカウンセリングや生徒指導上の諸課題の予防及び解消に取り組みます。
令和7年度はスクールカウンセラーの配置時間を拡充し、心のケアの充実を図ります。

いじめ・不登校対策の推進 59,700千円

ユア・フレンドの実施や心のサポート相談員の配置、フレンドリーの運営、オンライン学習支援の実施など、いじめや不登校への対策に取り組めます。

学校における支援
学校外での支援
学校内外での支援

教室での支援
学級支援員等

別教室での支援
不登校対策サポーター等
心のサポート相談員(小のみ)

学校の授業配信

フレンドリー
(教育支援センター ※市内6カ所)

フレンドリー
オンライン

フリースクール等

ユア・フレンド(大学生による対話)

スクールカウンセラー(心理の専門家)

スクールソーシャルワーカー(福祉の専門家)

日本語指導環境の整備 30,200千円

日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒等に対して、継続的な指導や編入初期の見守り、通訳ボランティアを派遣するなど、教育環境の整備に取り組めます。
令和7年度は、指導担当教員や支援員を配置する拠点校を1校追加し、指導体制の充実を図ります。

当初予算のポイント(教育委員会事務局)つづき

最適な教育環境の整備

学校部活動の改革	12,800千円
新しい学校部活動の実施に向けて、部活動指導者のマッチングシステムの導入や、企業等と協力したモデル事業など、持続可能な財源や人材の確保に取り組めます。	
部活動指導員の配置	53,700千円
地域人材等による部活動指導員について、令和7年度は31名増員し、中学校部活動の指導体制の更なる充実に取り組めます。	
教職員の働き方改革の推進	4,900千円
デジタル採点システムを全中学校に導入し、成績処理分析業務を効率化するとともに、学習指導にも活用することで個別最適な学びの充実を図ります。	
学校における電話対応の改善	6,600千円
小学校等に自動アナウンス付き電話録音機能を設置することで、理不尽な要望等のカスタマーハラスメントを抑止するとともに、学校における電話対応の改善を図ります。	
学校施設・設備等の整備	6,785,493千円
安全安心で良好な学習環境を整備するため、学校施設長寿命化計画に基づく施設や設備の改修、トイレの洋式化、エレベータ整備等のバリアフリー化等に取り組めます。	
天明校区施設一体型義務教育学校の整備	2,106,902千円
天明校区における本市初の施設一体型義務教育学校の設置に向け、新校舎の建築等を行います。	

生涯にわたる学びの提供と学びの成果をいかす機会の創造

児童育成クラブの体制整備	2,319,400千円
児童が安心して快適に過ごせるよう、手狭な施設や老朽化した施設の増改築を行います。また、支援員の処遇改善やクラブ利用に係る手続きのオンライン化など、安定的で効率的なクラブ運営に向けた取組を進めます。さらに、「熊本市こどもの未来応援基金」を活用し、遊具や図書等の入替えを進め、こどもの遊びを豊かにするための環境整備に取り組めます。	
金峰山自然の家のリニューアル	175,000千円
令和7年4月にリニューアルオープンする金峰山自然の家において、PFI事業者の創意工夫及び技術的・経営的能力等を活用し、恵まれた自然環境を活かした環境教育等、質の高い教育や学びの場を提供します。	



Kumamoto Education Week	2,000千円
こどもから大人まで、幅広い人々が集まり、これからの教育について考え、語り合い、思いを発信することを目的として、YouTube動画や対面イベントを交えたKumamoto Education Weekを開催します。	
	

当初予算のポイント(病院局)

質の高い医療サービスを提供するため、診療機能の充実を図ります。

施設・設備の最適化

手術支援ロボットの導入 359,649千円

熊本市民病院に手術支援ロボットを導入することで、手術の正確性、安全性の向上と、低侵襲性による患者の負担軽減を図ります。



手術支援ロボットのイメージ

医療機器の整備 317,261千円

保育器や人工呼吸器など、最新の医療機器への計画的な更新を進めます。



更新機器の例



当初予算のポイント(上下水道局)

「熊本市上下水道事業経営戦略」に定める4つの将来像の実現に向け、以下の事業に重点的に取り組みます。

- 1. 施設等の強靱化の取組により、『快適で安全安心な都市生活を支え続ける』
- 2. 脱炭素化の取組や地下水資源の有効利用により、『循環型社会の構築に貢献し続ける』
- 3. 更なる利便性の向上により、『お客さまから信頼される質の高いサービスを提供し続ける』
- 4. 官民連携等の検討により、『安定した事業経営を続ける』

1.快適で安全安心な都市生活を支え続ける

●水道事業

主要施設の更新 2,255,958千円

老朽化した施設及び設備を更新し、健全性を維持します。



水運用センターの更新

水道管の更新(耐震化) 2,846,298千円

水道供給を支える水道管を耐震管に更新し、耐震化を推進します。



まちなか水道管リニューアル大作戦
(中心市街地配水管更新事業)

水道施設の機能強化 196,904千円

一部施設の機能不全が起きても安定供給できるよう施設機能を強化します。



新設した基幹管路

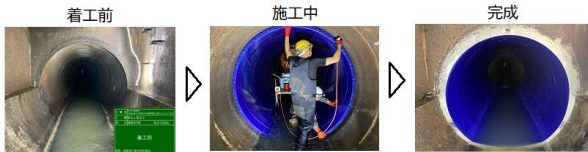
基幹管路等の新設(耐震化) 1,330,272千円

水道管の破損による大規模断水を防ぐためにバックアップ体制を強化します。

●下水道事業

下水道施設の耐震化・改築更新 3,851,132千円
(うち国補正予算 786,910千円)

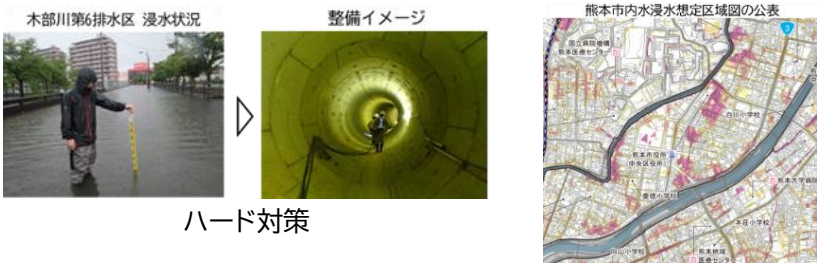
重要施設の耐震化及び更新を行い、下水道の強靱化を推進します。



下水道管路の耐震化

浸水対策 3,784,830千円

激甚化・頻発化する大雨に対応すべく、ソフト・ハード対策が一体となった総合的な浸水対策を推進します。



ハード対策

未普及地区への管路整備 5,243,000千円

普及率向上及び災害に強い下水道の確立のため耐震管の整備を推進します。

ソフト対策

当初予算のポイント(上下水道局)つづき

2. 循環型社会の構築に貢献し続ける

地下水保全

100,398千円

地下水を水道資源として利用していくため、環境局と連携して保全に取り組みます。

公共用水域の水質保全

152,213千円

放流水質の向上を図るため、法令で定められた基準よりも高い目標を設定し、水質保全に取り組みます。
また、下水道新設工事における説明会や未接続世帯への戸別訪問などを通し、水洗化率の向上を図ります。

省エネルギー機器への更新

970,512千円

設備の更新に併せて、省エネルギー機器の導入により消費電力量等を削減します。

脱炭素化に資する取組

490,464千円

新技術の導入及び国の制度を活用した省エネ機器の導入により温室効果ガスを削減します。

繊維利活用システム



汚泥(脱水ケーキ)含水率を低下させる機器で、運搬及び都市ガス使用量を削減します

不明水発生原因の調査

15,000千円

水道施設から配水された水道水の一部が不明水となっている原因を調査、特定することで、効率的な地下水利用を推進します。

漏水対策

118,943千円

漏水の主な原因となっている老朽化した給水管の布設替え等の実施と併せて、漏水発生への24時間緊急対応体制を整え、大規模漏水を防ぎます。

3. お客さまから信頼される質の高いサービスを提供し続ける

水道ブランディングの取組

7,036千円

企業やプロスポーツチームと連携した広報に取り組むほか、新キャラクターの活用、給水機の設置拡大により良質でおいしい熊本市の水道の魅力を広く発信します。

分かりやすく効果的な広報の実施

13,877千円

上下水道事業について各種メディアでの幅広い広報と併せて、100周年記念事業で醸成した「感謝・誇り・信頼・誓い」を広く、未来へつないでいきます。

クレジットカード払い導入

24,283千円

水道料金等の支払い方法にクレジットカード払いを追加し、多様化するライフスタイルの中でも利便性を感じていただけるサービスを提供します。

上下水道局 新キャラクター
スー と ミルル



水道



CREDIT CARD



4. 安定した事業経営を続ける

水道施設整備における官民連携の検討

22,264千円

新配水池の整備において、官民連携(デザインビルド等)の導入可能性を調査し、効率的な整備を図ります。

下水道施設管理における官民連携の検討

26,400千円

W-PPPをはじめとするPPP/PFI手法のカスタマイズ、導入可能性などを調査し、本市に最適な「熊本市型スキーム」の導入を図ります。

当初予算のポイント(交通局)

昨年頻発した運行トラブルを未然に防止し、市民の皆様安心して市電をご利用いただくため、公共交通の基本である安全確保を最優先に取り組みます。あわせて、利便性・サービス向上も図ります。

【安全対策】軌道施設の着実な更新と維持補修の確実な実施

軌条交換工事 471,332千円

毎年、老朽化した軌条(レール)の計画的な更新を行っており、令和7年度は神水交差点渡り線及び市役所前交差点の軌条の交換を行います。



軌条交換工事の様子



肉盛溶接の様子

軌条の肉盛溶接、軌道整生 72,401千円

軌条(レール)の傷みや歪みを補修し、車両を所定の速度で安全に運転させることができる状態に線路を保持します。



軌道整生の様子

ドアエンジン更新 38,000千円

老朽化したドアエンジン(ドア開閉機)を計画的に更新し、ドア開走行を防止します。
対象車両:1200・1350形 令和7年度対象車両数:2両



現ドアエンジン



更新後ドアエンジン(イメージ)

【安全対策】実効性の高い指導・教育の実施

研修・講習会等の新設及び充実 4,750千円

基礎的な運転動作等に係る教習動画を作成するほか、新たに乗務員の他都市視察を実施します。乗務員及び技工職員等を対象とした研修・講習会の機会を積極的に設けます。



研修の様子



個別指導の様子

市電の輸送力強化 ～計画的な車両更新～

多両編成車両導入事業

934,506千円

車両の老朽化に伴う車両更新、朝タラッシュ時の輸送需要への対応及びバリアフリー対応車両の充実を図るため、令和6年度に2編成導入した多両編成車両について、令和7年度も2編成導入します。



R6に導入した多両編成車両の外観



多両編成車両の内装